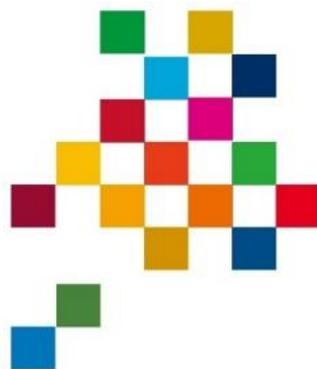


【別冊】 個別事業版



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs

私たちのフィールド、私たちのSDGs

2024年2月8日 兵庫県



1	ひょうごフィールドパビリオンの展開	P 3
2	万博会場「兵庫県ゾーン」・兵庫県立美術館における魅力発信	P 31
3	「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信	P 34
4	リージョナルデー「市町の日」による魅力発信	P 75
5	「子どもの夢プロジェクト」の実施	P 77
6	機運醸成事業の実施	P 80
7	推進体制の構築	P134
8	連絡窓口	P136
9	施策別体系一覧	P142

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

・地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「**ひょうごフィールドパビリオン (FP)**」を展開する。
 ・「躍動する兵庫」を切り拓いていく**地域のヒーロー**に光を当てる。

21世紀型万博の意義 人類共通の課題解決 (アイデア) を発信する場

兵庫五国での取組には
**世界が持続可能な発展
 を遂げていくための多くの
 ヒントが秘められている**

- 兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた
- 阪神・淡路大震災からの **創造的復興**
 - 人と環境にやさしい **循環型農業**
 - 豊饒な大地や海に育まれた **食材**
 - 挑戦を繰り返してきた **地場産業**
 - 郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた **芸術文化**



大阪・関西万博に合わせ、「ひょうごフィールドパビリオン」を展開



185 件を認定
 (R5.12.19時点)

9 件をプレミア・プログラムに選定
 (R5.11.30時点)

<プログラム例>



龍野に息づく、醸造体験および蔵見学ツアー



野生復帰したコウノトリが教える地域環境づくり

**定住・交流人口の増加、持続可能な地域の
 実現、地域内経済循環の構築を目指す**

R5年度「SDGs未来都市」・「自治体SDGsモデル事業」に選定 [R5.5.22]

✓ R5年度の国補助金「自治体SDGsモデル事業補助金」を活用し、さらなるプログラムの磨き上げ、プロモーション事業を実施



1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

【R6年度事業費：122百万円】



(1) プロモーションの展開

- ・WEBサイト等による情報発信により**フィールドパビリオンの認知度向上**を図るとともに、**国内外に積極的にプロモーションし、旅行商品化・ツアーへの組み込み**等により兵庫への誘客を促進。
- ・遠方から順次、近隣諸国、国内へのプロモーションにシフトするなど、**ターゲット設定を行ったうえ、戦略的に展開**。

WEBサイト・広報素材等による情報発信

- (1) 専用WEBサイトの機能拡充
専用サイトにOTAや越境ECのリンクを連携するなど機能拡充



<https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp>

- (2) SNS・動画等の活用によるプロモーション
Instagram等のSNSを活用したキャンペーンの実施や、インフルエンサーを活用した情報発信等を展開



https://www.instagram.com/hyogo_field_pavilion/

- (3) メディアの活用によるプロモーション
広告用動画を作成し、国内外のWEBメディアで発信(専用WEBサイト活用、WEBライティング広告等)
フィールドパビリオンの地域特集冊子を作成・配布

フィールドパビリオンの認知度向上

2025年 大阪・関西万博開幕

R5年度

海外向けプロモーション

- ✓ 旅行の意志決定に時間が必要な欧米豪など遠方から開始
- ✓ 順次、近隣のアジア諸国へ展開

R6年度

- (1) 知事トップセールス
知事の豪州訪問の機会に合わせてシブニ等でトップセールスを実施
- (2) ファムトリップ、メディアファム
海外エージェントやメディアを招聘
- (3) 旅行博等への出展(海外事務所等)
海外事務所を中心に、海外で実施される旅行博等へ出展するとともに、フォローアップを実施



国内向けプロモーション

- ✓ 各プログラムの完成度を高め、国内向けプロモーションへシフト
- ✓ 校外学習や教育旅行等の活用に向けた働きかけを実施

R7年度

- (1) 航空会社等就航地でのプロモーション
就航先でのプロモーションイベントの開催するとともに、機内誌や案内所等での広報の実施
 - (2) 旅行博等への出展
ツリスムEXPOジャパンなど、首都圏で開催されるイベントに出展
- フィールドパビリオンの旅行商品化、ツアーへの組み込み**

万博会場でのフィールドパビリオンPRイベントの検討

万博期間中、万博会場にプレーヤーホールに会い、ブース出展・ステージイベント等により兵庫各地域の魅力やSDGsを表現する取組を発信することで、万博期間中及び万博後における兵庫への誘客につなげる

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

(2) プログラムの磨き上げ

【R6年度事業費：33百万円】

- 認定したプログラムは、**国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラム**になるよう、プレーヤーやサポート人材への研修、モニター事業の実施、商品化支援などの**磨き上げ**を行い、受け入れ体制の向上に取り組んでいく。
- 伴走型の支援を行い、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムに仕上げる。**
- 研修へ参加するとともに、セルフチェックを行うことで、**自立自走ができるPDCAサイクルをまわす。**

① 磨き上げ研修

○座学研修

ワークショップ	・プログラムの自己分析、課題認識と解決策の検討 等
プログラム造成	・規模・頻度・時間・価格設定 等
受入体制整備	・法令遵守、危機管理対策 ・キャッシュレス決済、ユニバーサルの視点
インバウンド対応	・サステイナブルツーリズム、相手に合わせた説明 ・音声翻訳ツールの活用 等
情報発信	・SNSの効果的な使い方、HPでの発信 等



○実地研修

各プログラム提供場所において、コーディネーターや通訳案内士等のサポート人材とともに、プレーヤー同士が相互訪問し、**プレーヤー等のネットワーク化を促進する**

<磨き上げのPDCAサイクル>



○メタバース講習会の開催

タビマエのプロモーション素材として、メタバースを自主製作する講習会を開催

② フィールドパビリオン県民モニター事業

プログラムの魅力向上に向け、**アンケート協力を行う県民モニター**のフィールドパビリオンへの訪問を支援

対象団体	県内の地域団体・グループ（10名以上）
対象経費	フィールドパビリオン体験料、バス借上料 等
補助率	定額（上限4万円）

③ 商品化支援

○ツアー造成に向けた商談会及びエクスカーションの実施

プレーヤーと旅行会社のマッチングやエクスカーション等を実施し、プレーヤーによる旅行商品化を支援

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① 磨き上げ研修	研修を実施（座学研修→実地研修）、メタバース研修		
② 県民モニター事業		モニター事業の実施	フィードバック結果公表
③ 商品化支援	各種支援の実施、モニターツアーの実施 → 商談会・エクスカーション		

1. 事業概要

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示。

2. R7年度の実現内容

- ・県内の防災関連資源と周辺の観光資源を組み合わせたツアーが民間事業者により市場化し、防災ツーリズムが普及・定着。（人と防災未来センター、三木広域防災センター、E-ディフェンスや震災遺構等を活用）
- ・国内被災地の知事、海外の被災自治体等と連携した「創造的復興サミット」などへの国内外からの来場者、万博・FP参加者等、国内外に「防災先進県ひょうご」、「ひょうご五国」を広く発信。



人と防災未来センター

3. R6年度実施内容【14百万円】

(1) ツアーコースの造成等【10百万円】

① 企画委員会の設置等

R5年度に立案予定の「防災ツーリズム推進戦略（仮称）」に基づく施策の実施にあたって、専門家から助言をもらうとともに、企画委員会で実施方法等を決定

② 「防災ツーリズム推進戦略（仮称）」の実施・検証・改善

戦略の向上や防災ツーリズム資源のプロモーションに必要な取組を展開

③ 世界銀行・国際会議「グローバルフォーラム2024」への参画

R6年6月に姫路市内で開催される「グローバルフォーラム2024：自然災害リスクへの理解を深める」に参画し、フォーラム来場者に県内の防災関連資源を訪れていただくスタディツアーの提供等を実施



広域防災センター

(2) 防災まち歩き推進【4百万円】

① 防災まち歩きガイドの育成

阪神・淡路大震災の経験・教訓を次世代に承継・発信する「防災まち歩き」に取り組む団体・人材の裾野を広げるための研修を実施

② 防災まち歩きイベントの開催

震災から復興した街並みを舞台に、震災当時の写真を表示できるデジタルマップを活用したガイド付まち歩きイベント等を開催

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
ツアーコースの造成等	戦略の立案	戦略に基づく施策の実施・検証・改善	市場化、普及・定着
防災まち歩き推進	マップ作成・広報、1.17を中心にイベント実施、ガイド育成		防災関連NPO等の取組支援

ユニバーサルな障害者芸術フィールドパビリオンの展開

1. 事業概要

県では、ユニバーサル社会の実現を目標に掲げ、障害者芸術の分野においては、県立美術館王子分館内に障害者芸術作品の常設展示場である「兵庫県障害者アートギャラリー」を開設するなど先進的な取組を進めている。

2025年大阪・関西万博では、世界中から訪れる人々に対し、県内で障害者芸術作品の鑑賞等が行える障害者芸術フィールドパビリオンを展開し、兵庫の先進的な取組をPRする。

2. R7年度の実現内容

国内外からの多様な来訪者に対する兵庫における障害者芸術の取組の認知度向上

3. R6年度実施内容【2百万円】

(1)ユニバーサルな障害者芸術フィールドパビリオン【1百万円】

動画やマップ、チラシ等様々な広報媒体により兵庫の障害者芸術をPR

(2)障害者芸術作品巡回展の開催等【1百万円】

地域の障害福祉事業所等と連携し、県下各地域で障害者芸術作品展覧会を開催するとともに、芸術作品の展示を希望する学校や店舗等と障害福祉事業所等のマッチングを支援



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①兵庫の障害者芸術PRの強化		フィールドパビリオン申請 → 動画やマップ、チラシ等によるPR強化	
②障害者芸術作品巡回展の開催等	県内10圏域での障害者芸術作品巡回展の開催	→ 県内各市町域での障害者芸術作品巡回展の開催	作品展示希望の学校・店舗等と障害福祉事業所とのマッチング支援

「北摂里山地域循環共生圏」のフィールドパビリオン展開

環境部

1. 事業概要

里山保全が盛んな兵庫県北摂地域（宝塚市、川西市、猪名川町の一部）において、脱炭素、資源循環、自然共生を総合的にアプローチする取組（ひょうご版地域循環共生圏＝ローカルSDGs）の体験を通じ、【地域に賦存する資源の有効活用による地域の自立・分散】及び【地域・都市間交流による支え合う関係づくり】に向けた機運の向上を図る。

2. R7年度の実現内容

兵庫県北摂里山地域のローカルSDGsをフィールドパビリオンとして体験する北摂里山FPツアーを実施。

- ・宝塚市西谷地区： 県有環境林を活用したエネルギーの地産地消
- ・川西市東谷地区： 台場クヌギを材料とする菊炭生産・里山保全
- ・猪名川町中谷地区： 多田銀銅山跡を核とした人の交流・自然とのふれあい

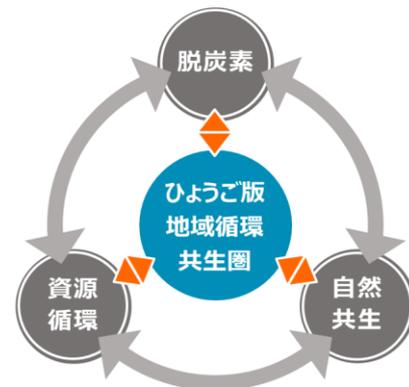


図1 ひょうご版地域循環共生圏

3. R6年度実施内容【-百万円】

(1)日本一の里山・北摂里山FP実行委員会

体験型イベントを開催するにあたり、企画立案を行う実行委員会を実施。

(2)北摂里山トークイベント

- ①北摂里山地域の地域活性に取り組む中心人物によるパネルディスカッション
- ②北摂里山地域で活躍する団体によるポスターセッション

(3)北摂里山FPツアー

R7年度に本開催する北摂里山FPツアーをプレ開催。



図2 北摂地域循環共生圏のイメージ

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① 実行委員会	開催	開催	開催
② トークイベント	企画立案	開催	開催
③ 北摂里山FPツアー		企画立案	統合開催

1. 事業概要

広大なススキ草原と大空を翔るイヌワシ。上山高原のこうした貴重な自然を、これまでから県は地域と協働の下、「上山高原エコミュージアム」として、PRに努めてきた。

この取組を、芸術文化観光専門職大学と連携を図り、大学が持つ芸術、文化、観光及び学生の観点を取り入れることでよりブラッシュアップし、SDGs体験型地域プログラムのフィールドパビリオンとして構築する。



シワガラの滝（新温泉町）



上山高原（新温泉町）

2. R7年度の実現内容

- ・国内外からの来訪者に対する受入れ準備が完了。
- ・実施者側がSDGsについて理解を深め、豊かな自然と生活との関わりについて説明ができる。

3. R6年度実施内容【2百万円】

<主な内容>

- ① 既存イベントのブラッシュアップ 0.5百万円
- ② SDGsの観点を意識したモデルツアーの実施 0.5百万円
- ③ 安全標識多言語化対応 0.5百万

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① イベントのブラッシュアップ	既存イベントへの参加、問題点・改善点の提示、プランの作成		新規イベントの提供
② モデルツアー実施	10月	4月	10月
○ 展示更新・広報強化	展示手法検討、更新・広報の強化		ふるさと館及びイベントでの展示・利用
○ 検討会の実施	開催	開催	
③ 事例調査		事例調査	
④ 多言語化対応		多言語化対応	

景観資源を活用した ひょうごフィールドパビリオンとの連携

1. 事業概要 フィールドパビリオンに関連する観光地モデルコース、体験プログラム等が掲載されているコンテンツと、地域の景観資源を紹介するコンテンツをリンクすることで相互の付加価値を高め、フィールドパビリオンの展開を支援

2. R7年度の実現内容

- ・観光地モデルコースやSDGs体験型地域プログラムとリンクした地域の景観資源の情報を市町の観光協会等と連携してPRし、ひょうごフィールドパビリオンを軸とした観光プランの魅力を向上

3. R6年度実施内容

(1) 観光地モデルコース等とのリンク

- ・フィールドパビリオンに関連する観光地モデルコースやSDGs体験型地域プログラムが掲載されているコンテンツと、地域の景観資源を紹介するコンテンツをリンクする

例1 播州織（西脇市）

- +【景観資源】：播州織工房館（景観遺産）、
矢筈山山頂（ビューポイント）

例2 三木金物（三木市）

- +【景観資源】：三木城下町地区（景観形成地区）、
旧湯の山街道（ビューポイント）

例3 但馬牛（新温泉町）

- +【景観資源】：熱田集落（香美町・景観遺産）、
味原小径（ビューポイント）

例4 石の宝殿（高砂市）

- +【景観資源】：高砂地区（景観形成地区）、
工楽松右衛門旧宅前（ビューポイント）

(2) 観光協会等と連携したPR

- ・観光地モデルコース等とリンクした地域の景観資源を市町の観光協会等と連携してPRする



三木城下町地区
(三木市・景観形成地区)



播州織工房館
(西脇市・景観遺産)



工楽松右衛門旧宅前
(高砂市・ビューポイント)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
(1) 景観資源と観光地モデルコース等とのリンク	景観資源選定・現地調査	観光地モデルコース等とのリンク	万博開催期間 (4～10月)
(2) 観光協会等と連携したPR			観光協会等と連携したPR

ひょうごフィールドパビリオン活用推進事業

1. 事業概要

校外学習や体験活動に活用可能なフィールドパビリオンのモデルコースを作成し、これまで県が取り組んできた兵庫型「体験教育」の意義や魅力とともにモデルコースを広く発信することにより、フィールドパビリオンの学校行事等での活用を促進することで、兵庫の子どもたちにさらなるふるさと意識の醸成をはかる。

2. R7年度の実現内容

- ・モデルコースを県内の公立小学校・中学校の児童生徒が訪れ、兵庫五国のSDGsの取組を体験。
- ・特色ある校外における体験学習の実践事例集の配布により、実践事例紹介の実施。
- ・リーフレットの作成及び配布により、実践事例やモデルコースの周知の完了。

3. R6年度実施内容 【1百万円】

①魅力発信検討会議の実施【0.6百万円】

〔検討内容〕・県内の公立小学校・中学校が校外学習や自然学校等で兵庫五国のSDGsの取組を体験する中で学ぶためのモデルコースを検討し、あわせて魅力発信を行う。

②実践事例等の収集【0.7百万円】

- ・フィールドパビリオンを含め、特色ある校外における体験学習の実践事例の調査を行う。

③実践事例やモデルコース等の周知

- ・実践事例やモデルコース等を紹介した電子版リーフレットを作成及び配布する。

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力発信検討会議 (モデルコース検討会議)		モデルコースの検討及び魅力発信	
実践事例等の収集		実践事例等の収集	
実践事例やモデルコース等の周知		周知	活用の実施

神戸のフィールドパビリオン魅力発信

神戸
県民センター

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、兵庫・神戸の誘客促進を図るため、神戸市内の認定プログラムについて、様々な媒体を活用し、魅力をわかりやすく県民に発信するとともに、県民がプログラムを体験する動機付けを行い、神戸のフィールドパビリオンの魅力を発信する。

2. R7年度の実現内容

- ・各FPにおいて、国内外からの来訪者に対する受入れ準備が完了。
- ・神戸地域の認定プログラムの認知度が向上。
- ・神戸地域のファンを獲得。

3. R6年度実施内容【4百万円】

(1)メディアを用いた発信【3百万円】

主な体験プログラムをインフルエンサー等が訪問し、SNSやラジオ番組、Web媒体で発信。

(2)神戸地域フィールドパビリオンガイドの作成【0.4百万円】

プログラムを紹介するガイドを作成し、様々な媒体を利用し県民へ提供。

(3)認定プログラム体験スタンプラリー【1百万円】

神戸市内のフィールドパビリオンを巡るスタンプラリーを実施し、一定数体験した参加者には神戸ブランドの景品を贈呈。



湊川隧道



県立六甲山ビジターセンター



舞子公園

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
メディアを用いた発信		SNSやラジオ番組、Web媒体で発信	
ガイドマップの作成		ガイドの作成・提供	
体験スタンプラリー		スタンプラリーの実施	

次代につなぐ湊川隧道の保存・継承と魅力発信

1. 事業概要

大阪・関西万博を契機に、これまで継続してきた“地域の宝”である湊川隧道の保存とさらなる魅力発信を両立させる取り組みを継続・充実化し、次代へ引き継いでいく。(フィールドパビリオン認定プログラム)

2. R7年度の実現内容

国内外からの来訪者受け入れ準備完了。

- (1) 隧道内にWi-Fiを整備
緊急時の連絡手段確保や来訪者の利便性が向上
- (2) 隧道案内の充実
定期一般公開日の追加
定期一般公開時にガイドによる来訪者への個別説明も可能



湊川隧道



定期一般公開

3. R6年度実施内容【1百万円】

- (1) 見学コンテンツの充実
隧道の歴史的価値を伝える銘板発掘・拓本展示【1百万円】
定期一般公開日の追加（第1土曜日〔試行〕の本格実施を予定）
- (2) 省力化した維持管理手法による修景（おもてなし）【-百万円】
隧道入口周辺緑化部の除草省力化につながる手法の導入検討（ムカデ芝等の活用）



隧道案内（説明会）

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
Wi-Fi整備	Wi-Fi整備	安全性や利便性が向上した見学会の実施	
ガイドの養成		ガイド養成講座、隧道案内の充実	
見学コンテンツの充実		定期一般公開拡大（第1土曜日〔試行〕）、（R6～）	銘板の発掘・拓本の作成・展示
維持管理省力化による修景		維持管理省力化手法の導入検討、修景の実施	
			フィールドパビリオンの実施

「都市山・六甲山」魅力発信 ～自然とアートのコラボレーション～

神戸
県民センター

1. 事業概要

としま

2025年大阪・関西万博に向け、市街地からのアクセスにも優れた「都市山・六甲山」のポテンシャルを生かし、観光客を誘致するための各種賑わいづくりイベントを開催する等、新たな六甲山全体の活性化を図る。併せて、六甲ミーツ・アートの会期中に六甲山の自然に親しみつつ、アートの魅力にも触れることができるガイドツアーを実施することによって、アートを通じた六甲山の新たな魅力を発信する。

2. R7年度の実現内容

六甲山に複数存在する2025大阪・国際万博のフィールドパビリオンや万博と同時開催の瀬戸内国際芸術祭の拠点となる美術館等に六甲ミーツ・アートのパネルやチラシ等を設置する等の連携によって、六甲山におけるインバウンドをはじめとした誘客を図り、六甲山全体の活性化を実現する。



ミーツ・アート展示作品のイメージ

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1) 「都市山・六甲山」魅力発信事業

① 六甲ミーツ・アート芸術散歩 ガイドツアー事業【1百万円】

県立六甲山ビジターセンター会場を含めた展示会場をガイド付きで巡る事業を複数回実施する。

② 六甲山ビジターセンター賑わいづくり事業【2百万円】

県立六甲山ビジターセンターにおいて、パフォーマンスイベントやキッチンカー出店等の賑わいづくりイベントを開催し、利活用の推進に繋げるとともに、六甲山上の拠点施設としての価値向上につながる取組みを行う。



キッチンカー出店



県立六甲山
ビジターセンター

(2) 効果

六甲山への愛着心の醸成、興味・関心の向上及び賑わいを創出する。

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「都市山・六甲山」魅力発信事業	Mt.Rokkoロゲイニングの開催		フィールドパビリオンの実施
	六甲山みどころツアー	ミーツ・アートガイドツアー 等	
		ビジターセンター賑わいづくり	

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博に向け、六甲山・摩耶山の土砂災害対策に取り組んできた歴史ある治山遺構とその周辺の観光施設を組み合わせ、フィールドパビリオンにも位置づけ、治山遺構ツーリズムとして展開する。

(周辺観光施設：摩耶ケーブル・旧摩耶観光ホテル・摩耶ロープウェー・掬星台)

2. R7年度の実現内容

(1) 現地案内ツアーの開催

林内歩道を歩きながら、S13年当時施工の治山工事遺構施設の解説を行い、崩壊地を緑豊かな森に再生してきた治山事業への理解と防災意識の向上を促し、未来へ継承していく。また、既存の「摩耶山観光案内ツアー」（旧摩耶観光ホテル）と公民連携し、摩耶山の魅力を付加して発信することにより、六甲山の観光振興にも役立つ。



治山遺構施設（S13災害復旧）

(2) 効果

六甲山の災害の歴史と森林再生について、ツアーに参加して楽しみながら学び、六甲山・摩耶山の魅力を感じてもらう。

3. R6年度実施内容【4百万円】

ツアーの企画と実施：【2百万円】

階段設置：【2百万円】



昭和13年阪神大水害当時
摩耶観光ホテル下が大崩壊



現地案内時の様子



国登録有形文化財
「旧摩耶観光ホテル」

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
4. ロードマップ 摩耶山の治山遺構と 観光振興	ツアーの企画立案、階段設置		
	ツアーの実施		
		フィールドパビリオンの実施	

1. 事業概要

近年世界的に再評価されている、阪神間モダニズムの文化風土を背景に芦屋で発祥した芸術「具体」をはじめ、フィールドパビリオンに認定されている西宮の酒蔵や尼崎城など、阪神南エリアの個性豊かなコンテンツの魅力を発信することにより、認知度向上や万博来場客の地域への誘客を図るとともに、地域のブランド力向上に繋げる。

2. R7年度の実現内容

- ・「具体」所蔵美術館等による具体作品の連携展示や、“GUTAI”マップを活用したゆかりの地を巡るまち歩き等のイベントを開催
- ・地域団体や企業、学校等と共に魅力発信イベントを開催し、万博後も地域での連携・協働ができる関係性を構築



100年続けるアート「平和の証」
(瓶投げアート公開制作)

3. R6年度実施内容【7百万円】

- (1)「具体」魅力発信推進委員会の開催【0.3百万円】
美術館の連携(所蔵作品展)、阪神間“GUTAI”マップ作成や関連イベントの企画運営への助言等
- (2)魅力発信ツールの作成・まち歩きイベントの実施【5百万円】
「具体」作品所蔵美術館、作家や活動にゆかりの地などを掲載したマップの作成・更新や、阪神間モダニズムや「具体」の魅力を感じられるまち歩きを開催
- (3)万博プレイベントの開催【1百万円】
万博に向けた機運醸成を図るため、地域の魅力を発信するプレイベントを開催（阪神間モダニズム浸透イベントなど）

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
具体魅力発信委員会	美術館の連携、マップ作成や関連イベントの企画・運営への助言		
具体による地域ブランド力の向上	・デジタル版マップ作成・追加・情報更新 ・まち歩きイベント開催		・美術館の「具体」連携展 ・まち歩きイベント開催
機運醸成イベントの開催	万博プレイベントの開催等		万博イベントの開催

1. 事業概要

古くから水運に利用されてきた尼崎運河は、尼崎臨海部の貴重な財産であり、尼崎21世紀の森構想が掲げる「森と人と水が共生する」まちづくりを推進するため、地域や市民との協働により運河を核としたその魅力を発信する。

2. R7年度の実現内容

(1) 魅力ある水辺空間の創出

- ・フィールドパビリオンとしての尼崎運河クルーズの本格実施、万博と連動した運河賑わいイベントの展開
- ・尼崎の森中央緑地第三工区での民間活力による賑わい創出

(2) 尼崎運河の拠点整備、環境学習の推進

- ・これまでの21世紀の森づくりの取組成果を国内外に発信
- ・北堀キャナルベースの交流機能の強化、および県内外から環境学習への参加者の拡大



尼崎運河クルーズ

3. R6年度実施内容【6百万円】

(1) 尼崎運河魅力アップ事業【4百万円】

市民団体等と連携した賑わいイベントの開催、尼崎運河の拠点整備

(2) 環境学習の新たな展開【1百万円】

企業・市民団体等との連携の場づくり、自然共生サイトの認証（R5）を踏まえた環境学習に係るフォーラムの開催

(3) 尼崎21世紀の森構想国際展開事業【0.8百万円】

多言語による動画作成や体験活動のプログラム作成等による森構想の国内外への発信

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
魅力ある水辺空間の創出	尼崎運河クルーズ社会実験 SUP拠点整備、第三工区賑わい創出に向けた検討・調整	尼崎運河クルーズの本格実施、運河賑わいイベントによる万博の機運醸成	尼崎運河クルーズの本格実施、万博と連動した運河賑わいイベントの展開
尼崎運河の拠点整備、環境学習の推進	尼崎運河の諸元調査、環境学習フェスティバル実施	第三工区民間活力による賑わい創出	尼崎運河の拠点整備・修繕及び環境学習の新たな展開

1. 事業概要

阪神北地域のひょうごフィールドパビリオン（以下、FP）を活用しながら地元住民等が地域の魅力を体験するツアーや、FPプレイヤーと住民等との共創PRイベントを実施し、住民自らが地域の魅力を発見・発信することでシビックプライドの醸成を図るとともに、管内外の住民同士の交流を促進し、万博を契機とした賑わいづくりと交流人口の増加につなげる。

2. R7年度の実現内容

- ・FPを通して、地元住民や子ども達にシビックプライドが醸成されるとともに、周辺地域の住民等にも阪神北地域の魅力が伝わる。
- ・大阪・関西万博を契機に、阪神北管内の多様な人々につながりが生まれ、地域の活力となる。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1) 阪神北地域の魅力再発見ツアーの実施【2百万】

点在するFPを巡るモデルコースを設定し、地元住民や子ども達、周辺地域の住民等を対象としたツアーを実施

(2) コ・クリエーション（共創）イベントの開催【3百万】

FPを通して阪神北地域の魅力を広く発信するため、地域で活躍する団体、学生、企業、市町など多様な立場の人々がつながり共に創るイベントやプロモーション活動を展開

① プロジェクトチームの設置

地域活動団体やFPプレイヤー、学生など、多様な主体によるプロジェクトチームを設置し、管内外でのPRイベント等の企画検討を実施

② イベントの開催

プロジェクトチームの企画により、管内外に向けたPRイベントを開催

③ プロモーションの実施

管内の地域フェス、イベントへの参画やPR動画の作成を行い、地域の魅力を内外に発信



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
阪神北地域の魅力再発見ツアー コ・クリエーション(共創)イベント		企画検討 事業実施	効果検証 FPのPR・誘客促進

※ 東播磨県民局では、『いなみ野ため池ミュージアム』を2002年から展開しています。

1. 事業概要

いなみ野ため池ミュージアムでは、地域の財産であるため池や疏水を“守り、活かし、次世代へ継承する”ため、農業者だけでなく地域住民が参画するため池協議会が中心となり、公民学で連携し水辺の地域づくりを展開している。

大阪・関西万博に合わせ、東播磨を象徴する“ため池のある水辺空間”をフィールドパビリオンとして多くの来訪者が見て、学び、体験できる、ため池巡りロゲイニング大会など各種イベントを実施するための整備を公民学で連携して行う。

2. R7年度の実現内容

各ため池において、国内外からの来訪者にも対応した受け入れ

3. R6年度実施内容：【9百万円】

(1) 多言語対応デジタルサインの整備 【2百万円】

多言語に対応したため池情報をデジタル化しホームページで公開

(2) フィールドパビリオンサインの設置 【7百万円】

QRコードを介して情報を得やすくするため、統一したデザインのサインを設置
ため池フィールドパビリオンプロジェクトを周知するためのモニュメントサインを設置



ため池巡りロゲイニング



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
多言語対応デジタルサインの整備		ロゲイニング大会 (プレイベント)	ロゲイニング大会 (参加型イベント)など開催
フィールドパビリオンサインの設置	サインの検討	情報収集・デジタルサイン整備 FPサインの作成・設置	

1. 事業概要

大阪・関西万博を契機に地域内外の人々にフィールドパビリオンとしての北播磨地域の魅力を知ってもらい、訪れてもらうため、フィールドパビリオン魅力向上、住民への周知、参画に向けた取組みを行う。

2. R7年度の実現内容

- ・FPプレイヤー、協力者等によるネットワーク構築、各FPにおいて、来訪者に対する受入れ準備が完了。
- ・地域住民に対するFP認知度の向上

3. R6年度実施内容【11百万円】

(1)フィールドパビリオンの魅力向上【1百万円】

- ①利用促進サマー(summer)の実施
6～9月を中心に各プログラムのイベントを集中的に実施
- ②認定プログラム関係者意見交換会の開催
地域で中心となってFPの活動する人・協力者等による意見交換会を開催

(2)住民への周知・参画【6百万円】

- ①モデルコースの作成
モデルコースを作成するとともに、プログラムを提供する人、支える人に光をあて、ストーリー仕立てでwebで情報発信
- ②「推しのグルメ100（仮称）」の作成
FP周辺の地元の人が薦める飲食店等を集めたガイド冊子・電子版を作成
- ③住民向け広報用資材の作成・配布
小中学校や地域住民にFPの体験・利用を働きかけるための広報用資材の作成・配布

(3)賑わいづくり支援【4百万円】

地域団体等が取り組むイベント開催、情報発信等に対する支援



山田錦稲刈り体験

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
フィールドパビリオンの魅力向上		利用促進サマーの実施	
住民への周知・参画		関係者意見交換会の開催	
賑わいづくり支援	募集→事業実施	広報用資材等作成・配布・発信 募集→事業実施	フィールドパビリオンの展開

1. 事業概要

東条川疏水は鴨川ダムと昭和池を水源とし、加東市から小野市、三木市にわたる約3千ヘクタールの農地に張り巡らされた広大な水路網で、古くから地域の農業や生活を支えてきた現役の地域遺産である。東条川疏水ネットワーク博物館は、東条川疏水が育む地域全体を博物館に見立て、疏水の歴史や果たしている役割を次世代に継承していくことを目指しており、北播磨県民局が中心となって加東市、小野市、兵庫県東播土地改良区をはじめ、博物館活動に賛同する地域の団体と協働して疏水をテーマに様々な活動を進めている。

大阪・関西万博は人を呼び込む絶好の機会であることから、これを東条川疏水に関連する活動を持続的に発展させる好機と捉え、東条川疏水でつながる農や食を含めた体験型プログラムを実施する。

2. R7年度の実現内容

- ・地域内外の人に東条川疏水を知ってもらうため、東条川疏水ネットワーク博物館会議を中心に体験型プログラムを実施
- ・地域内の小学校が取り組む疏水学習（教室内授業、施設見学）を支援
- ・疏水に関する様々な活動を展開する地域団体等の活動を支援



疏水学習施設見学

3. R6年度実施内容【11百万円】

(1) フィールドパビリオン体験型プログラムの展開【5百万円】

体験型プログラムのR7以降の本格実施に向けて、R5年度に作成したプログラム案をプレ実施し、実施後の検証、改善提案を行う。このほか、来訪者向け案内板等の設置やプログラム宣伝素材を製作する。

(2) 疏水学習への支援【5百万円】

疏水施設見学に必要なバス借り上げや疏水学習の教材開発を行う。

(3) 地域団体等への活動支援【0.5百万円】

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
体験型プログラムの実施	体験型プログラムの磨き上げ	体験型プログラムのプレ実施、改善	体験型プログラムの本格実施
疏水学習への支援	疏水施設見学バス借り上げ、疏水学習の教材開発		
地域団体等活動支援	活動費助成		

豊かな海 再生・体験推進事業

1. 事業概要

漁村来訪者と地域水産物のファン及びリピーターを確保するため、都市住民等を対象とした漁業見学船ツアー等「ブルーツーリズム」の取組支援と、資源管理型漁業や海洋保全活動等の情報発信、水産物のPR。

2. R7年度の実現内容

- ・FPの取組を核として、水産業及び漁村地域の魅力を発信することにより、漁村来訪者と地域水産物のファンを増やす。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1) 漁業見学船等による観光ツアー【4百万円】

海上での漁船操業状況の見学、坊勢島等における散策、食事体験等、家島諸島クルージング

(2) 水産物・漁村地域に関する情報発信・PR【1百万円】

① 情報発信

姫路市内の漁協直販施設等における水産物や漁村地域のPR

② 水産物のPR

播磨地域の水産物の魅力を紹介



4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
漁業見学船等による観光ツアー		体験ツアー等の試行（新たな取り組みの研究、実施手法の確立）	FPとして本格実施
直販施設等における水産物や漁村地域のPR		上記期間におけるバックアップ実施 等	

「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進

いにしえ

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古（いにしえ）」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進。

2. R7年度の実現内容

・観光PR動画をSNS等で広く情報発信し、国内外からの観光誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1)西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト【1百万円】

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、千種川、揖保川、瀬戸内海岸をはじめとする、「水」にまつわるストーリー・写真・映像を部門ごとに募集する水系自慢コンテストを開催し、それらの素材を活用した観光PR動画を作成。

(2)西播磨を巡るデジタルスタンプラリー【3百万円】

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並、道の駅など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。

(3)「観光カード」による観光プロモーション【1百万円】

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布。



【赤西渓谷（宍粟市）】



【利神城（佐用町）】

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢

万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開

1. 事業概要

2025年開催の「大阪・関西万博」の機会を捉え、西播磨地域の市町や地域単位の魅力、ひょうごフィールドパビリオンなどを発信する西播磨観光プロモーションを展開し、西播磨地域のイメージや認知度の向上により潜在的な観光客を掘り起こすなど、万博後も含めた誘客促進を図る。

2. R7年度の実現内容

PRコンテンツの作成など観光プロモーションの展開により、本会場及び西播磨地域への観光誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1) 西播磨観光プロモーション事業の推進

西播磨の魅力やひょうごフィールドパビリオンを効果的に発信するPRコンテンツ作成など、万博会場での西播磨地域の市町が連携した自治体参加催事やひょうご万博楽市・楽座等も見据えたプロモーションを企画するとともに、その効果や課題等を整理・検証するため、西播磨フロンティア祭2024や岡山・鳥取との県際イベントなどで、誘客促進プロモーションを実施する。

①プロモーション企画・PRコンテンツ作成

手法やターゲット、伝えたい内容などを明確化し、360度ビュー映像、動画（水系自慢コンテスト受賞作品も活用）、ノベルティアイテム、パンフレット等を作成する。

②プロモーション実施

西播磨フロンティア祭2024、岡山桃太郎まつり、津山さくらまつり、隼駅まつり、移住イベント(東京、大阪)、お城EXPO（横浜）、万博300日前イベント、同50日前イベント等でプロモーションを実施する。



【2023水系自慢コンテスト最優秀賞】

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開		企画・コンテンツ作成 プロモーション	

1. 事業概要

ひょうごFPへの取組を契機としてより多くの方を但馬へ誘客し、観光GDPの上昇や公共交通機関の利用促進を図り、地域の持続可能性を高めるため、各FPの地域内連携の強化や磨き上げ、情報発信を行う。

2. R7年度の実現内容

- ・地域内連携強化や磨き上げによりFPの魅力がアップし、観光客入込数が増加
- ・万博会場等対面でのPRの場において、情報発信ツールとしてパンフレットを活用
- ・観光客入込数の増加によるJR等公共交通機関の利用促進

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1) 芸術文化観光専門職大学と連携した事業【2百万円】

① 観光客の行動調査

観光情報や交通情報を提供するアプリを活用し、行動調査を行う。

② 学生モニターツアー

学生にFPを体験してもらい、各FPプレイヤーへ意見をフィードバックするとともに、その体験をSNSやHP等を通じて情報発信する。

③ モデルコース作成

学生モニターツアー等の結果を基に、FPや既存観光資源を活かしたモデルコースを作成する。

(2) パンフレット作成【1百万円】

但馬全域のFPやモデルコースを紹介するパンフレットを作成する。



▲プレミアプログラム「湯がき体験」

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
行動調査		調査、分析、提言	
学生モニターツアー		体験	SNS等で情報発信
モデルコース作成		コース検討 → 作成	SNS等で情報発信
パンフレット作成		作成	万博会場等で配布

但馬の多彩な観光資源の再構築

1. 事業概要

地域が主体的にコンテンツを創り上げる支援を行いつつ、日本遺産など但馬の多彩な観光資源を活用できるよう再構築を促すとともに、旅行者ニーズの多様化に対応する土壌を育み、より深く何度でも訪れたい但馬の観光を推進する。

2. R7年度の実現内容

- ・ひょうご F P と親和性のある体験コンテンツの造成が図られる。
- ・二次交通手段の実証的運用、運行が完了し、実証結果を踏まえて民間事業者主体で事業化が図られる。
- ・継続的な情報発信により国内外へ「観光地但馬」の地域資源、観光資源の周知が図られ、観光誘客数が増加する。

3. R6年度実施内容【7百万円】

(1) 多彩な観光資源の再構築

- ① 地域資源・コンテンツ品質向上支援【1百万円】
地域資源を活かした着地型体験コンテンツなどの造成を促し、テーマ性をもったツーリズムの構築を推進する。
- ② 二次交通の充実・利用促進に向けた支援【3百万円】
新たな二次交通手段に対する支援を実施することで、地域内の周遊性の向上を推進する。

(2) 但馬のツーリズム情報発信

- ① 広域的な観光情報の発信【2百万円】
アフター D C やひょうご F P に向け、インバウンド誘客も意識した広域的な観光情報を通年を通して継続実施する。
- ② 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の効果的なプロモーション推進事業【0.5百万円】
日本遺産のストーリー全体の魅力やストーリーでの構成文化財の位置付け等を伝える広報ブースを設置し、構成文化財等の周遊を促進する。



▲インフルエンサーによる情報発信

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1) 観光資源の再構築			<div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <p>万博開幕 ひょうご F P の展開</p> </div>
① 品質向上支援	体験型コンテンツの造成		
② 二次交通充実支援	観光地間の交通事情向上	一部民間主体で事業化	
(2) ツーリズム情報発信			
① 広域的な観光情報発信	市町と連携した継続的な情報発信や商談会等でのコンテンツの売り込み		
② 日本遺産プロモーション	広報ブースの設置	広報ブースの活用	

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、今後、国内外からの観光客が増えることが期待される。山陰海岸ジオパークエリアでもジオカヌーなど、ジオパークに関連したフィールドパビリオンも認定されている。それら認定されているフィールドパビリオンや、大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させ、山陰海岸ジオパークの魅力を国内外に発信する。

2. R7年度の実現内容

- ・各見どころ等において看板の設置が完了。
- ・山陰海岸ジオパークエリアを訪れた観光客等に対し、地域の魅力発信を視認性が向上することにより実施。



【ジオカヌー】



【玄武洞公園】

3. R6年度実施内容【3百万円】

以下の事業に対して補助を実施する。

- ・山陰海岸ジオパークのエリアに入る箇所に歓迎の意を表す看板の製作及び既存看板の刷新等に要する経費
- ・山陰海岸ジオパークの見どころを紹介するために製作される、看板の製作及び既存看板の刷新等に要する経費
- ・その他、受け入れ態勢の向上につながる認め経費

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
看板の設置 見どころの紹介		看板設置	
		魅力発信	

1. 事業概要

2025年に開催される「大阪・関西万博」に向けて、丹波地域におけるフィールドパビリオン資源を国内外に効果的に発信するとともに、資源を活かした取組を持続的なものにしていくことを目的として、フィールドパビリオン関係者で課題や情報を共有するセミナーや相互モニターツアー、丹波地域在住・在学の中高生とその保護者等を対象とした体験会を実施する。

2. R7年度の実現内容

- ・丹波地域のフィールドパビリオンコンテンツ関係者同士が、相互に送客し合える関係性を構築。
- ・万博開催期間中のみならず、終了後もフィールドパビリオン資源を生かした取組が持続的なものになるよう環境を整える。

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1)モニターツアー（現地研修）の実施【1百万円】

丹波地域のFPコンテンツの組み合わせにより創出された体験プログラムの実証的モニターツアーを実施し、成果・課題の共有、意見交換を行う。

- ①FPコンテンツ連携創出セミナー
- ②実証的モニターツアー（現地研修）

(2)教育旅行コンテンツフォローアップ【0.1百万円】

教育旅行コンテンツの造成を推進し、「TEAM EXPO 2025」プログラム共創チャレンジに登録されている「企業版教育コンテンツ集」への掲載を目指してフォローアップを行う。

- ①教育関係者との意見交換

(3)たんばFPプレ体験事業の実施【2百万円：万博枠】

丹波地域在住・在学の中高生、その保護者等を対象に、丹波地域内のFP認定プログラムを体験し、コンテンツ提供者と交流する体験会を実施。地元の魅力の理解促進とシビックプライドの醸成、丹波地域内の万博に向けた更なる機運醸成を図る。



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
サポート人材の発掘	人材発掘開始 → 順次、FPコンテンツ提供者の支援		
モニターツアーの実施	連携創出セミナー、モニターツアーの実施		
教育旅行コンテンツフォローアップ	コンテンツ造成のフォローアップ、教育関係者との意見交換		
たんばFPプレ体験事業の実施	FP認定プログラム体験会の実施		

丹波の里山づくり促進事業（体験プログラム実施 団体へのアドバイザー派遣）

1. 事業概要

丹波地域の里山を体験フィールドとしてフィールドパビリオンを展開する里山活動団体に対しアドバイザーを派遣し、経済性や安全性、収益性を加味した持続的活動を支援する。

2. R7年度の実現内容

- ・FPコンテンツ実施団体において、安全性を確保し、来訪者が満足できる体験プログラムを実施。
- ・FPコンテンツ実施団体が活動を継続できる収入を確保。

3. R6年度実施内容【-百万円】

派遣希望団体に対しアドバイザーを派遣し、経済性や安全性、収益性などを指導。

○アドバイザー

氏名	所属
維田 浩之	森林インストラクター 丹波篠山市森づくり支援員
内田 圭介	八百材舎木材コーディネーター 丹波の森研究所研究員
宮川 五十雄	NPO森の都研究所代表 丹波の森研究所研究員
門上 幸子	森林インストラクター 丹波の森研究所研究員
門上 保雄	森林インストラクター 丹波の森研究所主任研究員
山崎 春人	森林インストラクター 関西学院大学講師



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
アドバイザー派遣	アドバイザー派遣		必要に応じて実施

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ 兵庫県立美術館における魅力発信

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・ 兵庫県立美術館における魅力発信

【R6年度事業費：791百万円(うちハード613百万円)】
 (R7債務負担行為：424百万円)

・万博会場の関西パビリオン「兵庫県ゾーン」と県内拠点である兵庫県立美術館において、兵庫発のSDGsが体験できる**ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、歴史・文化などの多彩な魅力を展示を通じて発信**。あわせて、仕上げの1年として、兵庫県ゾーンや県内各地への誘客に向けた施策を展開。

万博会場「兵庫県ゾーン」

(関西パビリオン内、面積：約160㎡)

展示コンセプト

時空を超えた旅で兵庫県の魅力を
体感するアトラクション型映像空間

HYOGO
ミライバス
-体験型の全天周SDGs空間-



- ▶ 座席に座って楽しめるシアター空間
- ▶ 空間特性を生かしたトークセッションが展開可能



目標来場者数

100万人

兵庫県ゾーン 40万人
 兵庫県立美術館 60万人



- ▶ 来場者参加型・体験型の展示空間
- ▶ 子どもが主体となって発信・共創する展示

兵庫県立美術館

(ギャラリー棟3階ギャラリー、面積：約620㎡)

展示コンセプト

参加型の展示体験で、ワクワクしながら
兵庫の魅力を発見し体感できる空間

&future HYOGO

-持続可能な未来のヒント-

R6 主な 取組み

- ・**兵庫県ゾーン等の展示制作や展示会場を安全で快適に運営するための計画を策定**。
- ・広告やSNSを活用した情報発信のほか、NFTを活用したデジタルスタンプラリーなど、**兵庫県ゾーンと兵庫県立美術館、県内各地のフィールドパビリオンの周遊を促す誘客施策**を検討。

2 万博会場「兵庫県ゾーン」・兵庫県立美術館における魅力発信

(ウェディングゾーン)
 県鳥「コウノトリ」が出迎える
 ミライバスの入場口。その奥には、
 フィールドパビリオンの活動等を
 色鮮やかなステンドグラスアートで
 表現した回廊が続く。
 天井面から差し込む光に照らされた
 アート作品が、来場者に降り注ぐ、
 幻想的なアート・コリドーを演出。

(メインホール)
 過去から未来の時空を超え
 た旅をお届けする“HYOGO
 ミライバス”。
 全天周の映像にあわせ、バ
 スの揺れを再現するなど、圧
 倒的な臨場感が味わえるバ
 スツアー。
 (上映時間：10分程度)



万博会場「兵庫県ゾーン」



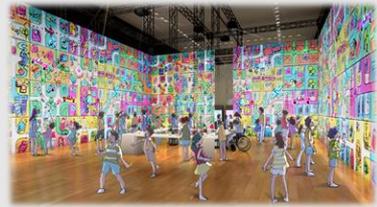
(フィールドパビリオンゾーン)
 フィールドパビリオンの体験メニューをハンズオンで展示
 し、子どもから大人まで楽しみながら学べるゾーン。
 県立美術館と兵庫県ゾーン等をリアルタイムでつなぐ、
 双方向コミュニケーションの仕掛けも計画。



※画像はすべてイメージ

兵庫県立美術館

(子どもの夢プロジェクトゾーン)
 子どもたちが主役となって巨大なデジタルアートを演出する
 ゾーン。子どもたちから絵画作品を集め、応募のあった作品を
 スキャン・デジタル化し、プロジェクションマッピングで投影。
 来場者用のイラスト作成スペースを設置し、その場で描いた
 イラストが映像に入り込む仕様を計画。



※展示設計中のため、今後展示内容に変更が生じる可能性あり。



【ロードマップ】

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①展示設計・制作	展示設計	展示制作 現場工事	
②会場運営等		運営マニュアル作成・スタッフ研修等	運営

3 「兵庫県版テーマウィーク」 による魅力発信

3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信

- 万博開催期間中、国際博覧会協会が実施する「テーマウィーク」に連動し、**兵庫県独自のテーマウィークを設定。**
- 協会8テーマに加え**“兵庫ならではの”の2分野**を独自テーマとして追加し、**計10テーマを「兵庫県版テーマ」として設定。**
- テーマに応じた事業を複層的に展開し、**「県民が参加できる万博」**を目指す。
- 事業スキーム構築に向けた検討を進め、**地域別説明会、県内各地のイベントへの出展等を通じて参画促進**を図る。

①「兵庫県版テーマウィーク」概要

- 概ね1週間毎にテーマを設定し、「対話プログラム」・「ビジネス交流」など対話による解決策を探る取組
 - *対話プログラム:国際会議、フォーラム、展示等
 - *ビジネス交流:展示会、見本市、国際会議、ビジネスマッチング等
- 様々な主体が国内外に発信することで、地域活性化や課題解決に向けた議論を深め、取組を加速させる機会とする
- イベントを集中的に行うことで、広報・集客効果を向上させる

	兵庫県版テーマウィーク	国際博覧会協会テーマウィーク								
テーマ	【兵庫県版10テーマ】 協会8テーマに加え、 兵庫県独自2テーマを追加	【協会8テーマ】 SDGs達成への貢献とBeyond SDGsを見据えた地球的課題								
	<table border="1"> <tr> <td>未来への文化共創</td> <td>未来のコミュニティとレジリエンス</td> <td>学びと遊び</td> <td>地球の未来と生物多様性</td> </tr> <tr> <td>食と暮らしの未来</td> <td>健康とウェルビーイング</td> <td>平和と人権</td> <td>SDGs+Beyond</td> </tr> </table>	未来への文化共創	未来のコミュニティとレジリエンス	学びと遊び	地球の未来と生物多様性	食と暮らしの未来	健康とウェルビーイング	平和と人権	SDGs+Beyond	
	未来への文化共創	未来のコミュニティとレジリエンス	学びと遊び	地球の未来と生物多様性						
食と暮らしの未来	健康とウェルビーイング	平和と人権	SDGs+Beyond							
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;">災害からの創造的復興</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #fff9c4;">ひょうごの成長産業と地場産業</div> </div>										
実施主体	県、市町、各種団体、フィールドパビリオンプレイヤー等	公式参加者、政府・自治体、博覧会協会、公的団体、教育・研究機関、NGO、NPO、企業等								
実施場所	兵庫県立美術館、県内各地、万博会場	万博会場内各パビリオン、催事場 万博会場外(全国規模の国際的なイベントを「テーマウィークコネクト」として実施)								
事業例	県・市町域規模 で開催する事業(国際規模のイベント含む)等	政府実施事業、全国規模で開催する事業、国外からの参加見込みのある事業等								

ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
①事業推進	企画立案	本開催に向けた準備	本開催
②参画促進・情報発信		参画促進(実施主体向け)	一般向け広報

3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信

②事業実施イメージ

■展開イメージ(例：テーマ「災害からの創造的復興」)

1日目 ●/● (月)	2日目 ●/● (火)	3日目 ●/● (水)	4日目 ●/● (木)	5日目 ●/● (金)	6日目 ●/● (土)	7日目 ●/● (日)
県内各地での関係イベント			●自治体災害対策全国会議	●自治体災害対策全国会議	●創造的復興サミット ※被災県知事が一堂に会しての発信	県内各地での関係イベント
人と防災未来センター「特別展」						
「防災ツーリズム」の推進キャンペーン						
万博会場、兵庫県立美術館をはじめ 県内各拠点で複層的に事業を展開						

■「テーマ」及び関係する主な県等事業例

※以下は万博年の実施に向けて今後調整予定（変更可能性あり）

テーマ [2025年のウィーク日程]		考え方	[参考] 主な事業例(県・関係団体実施分)
兵庫 県 独 自 テ マ	1 災害からの 創造的復興 [9月下旬～ 10月上旬予定]	阪神・淡路大震災からの復興の過程で生まれた“より良い社会をつくる”という「創造的復興」の理念を国内外へ発信	創造的復興サミット ・2025年は阪神・淡路大震災から30年の節目にあたることから、震災で生まれたコンセプト「 創造的復興(Build Back Betterの概念) 」をテーマに、 国内被災地の知事や海外の被災自治体・関係機関等が意見交換し、世界に向け発信 [主な参加者] 国内被災地の知事（兵庫、岩手、宮城、福島、新潟、熊本）、海外の被災自治体等（トルコ、ウクライナ） 他県連携
			防災ツーリズム ・「防災」と「ツーリズム」を組み合わせ、 楽しみながら防災を学び、防災意識向上とともに地域の魅力を堪能するという相乗効果 により、 防災意識の向上と地域活性化の両立を図る
			防災特別展（人と防災未来センター実施事業） 自治体災害対策全国会議（(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構実施事業）
			兵庫の地場産業の魅力発信(万博会場催事場への出展) ・地場産業の歴史・文化・技術の発信、SDGsの取組や若手による産地連携によるコラボ商品の紹介や展示などのPR活動を通じて、 兵庫、五国の地場産業の魅力向上とブランド価値向上 を図るとともに、各産地で活躍する 次世代の若手に万博を通して世界へ発信する経験の機会を提供
2	ひょうごの 成長産業と 地場産業 [9月上旬予定]	産業活性化と県民生活の豊かさ創出に向けて着実に進んでいる兵庫を支える成長産業やスタートアップ企業、世界で通用する優れた技術・ノウハウ等を持つオンリーワン中小企業や地場産業の取組みを発信	万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催 ・企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、 基調講演、特別講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術交流・ビジネスマッチングを進める機会を提供 ・万博開催に向けて増加する海外のビジネス客も取り込み、企業のさらなる国際展開を推進 36
			他県連携 兵庫がハブとなり、共通の課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県の連携を図る取組

3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信

② 兵庫県版テーマ

他県連携 兵庫がハブとなり、共通の課題への解決策や連携できる魅力を持つ複数府県の連携を図る取組

テーマ [2025年のウィーク日程]		テーマ領域	[参考] 主な事業例(県・関係団体実施分)
協会テーマ	3 未来への文化共創 [4/25~5/6]	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツなど	<p>2025年大阪・関西万博に向けた芸術文化魅力発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰もが芸術文化に親しむ機会を提供するひょうごプレミアム芸術デー、本県の多彩な芸術文化コンテンツを万博に合わせて誘客に繋げる情報発信のほか、陶芸美術館と地域の連携により丹波焼の里の魅力発信事業を展開 <p>HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 兵庫の魅力発信や活性化のため、大学生ボランティア(ヒョゴ・ミュージアム・サポーターズ)による広報活動、ヒョゴ・ミュージアム・サポーターズと各館との連携による企画提案・実施、瀬戸内国際芸術祭における他美術館との交流、広報連携など、社会教育施設において各種事業を展開
	4 未来のコミュニティとモビリティ [5/15~5/26]	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど	<p>自動運転による来訪者移動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 万博期間中、万博会場と淡路交流の翼港間で臨時航路を想定し、淡路交流の翼港～淡路夢舞台間でのLv4(※)相当の自動運転実証運行を実施し、万博来訪者を淡路夢舞台に呼び込む人の流れを創出 ※自動運転Lv4 (全てシステムが運転)
	5 食と暮らしの未来 [6/5~6/16]	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など	<p>環境創造型農業サミット</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境や生物多様性等に配慮した「環境創造型農業」を全国に発信 代表的取組みである「コウノトリ育む農法」を取り上げ、国内で同様に取り組む自治体、団体等と連携したサミットを開催し、環境にやさしい農業を推進  <p style="text-align: right;">他県連携</p> <p>輸出向け日本酒商品開発プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本酒のオリジナル商品開発やコンテスト出品等の支援、海外バイヤーの県内酒蔵への招聘、商談会の開催等を通じ、インバウンド需要の掘り起こしや日本酒輸出を促進

3 「兵庫県版テーマウィーク」による魅力発信

テーマ [2025年のウィーク日程]		テーマ領域	[参考] 主な事業例(県・関係団体実施分)
協会テーマ	6	健康とウェルビーイング [6/20~7/1]	<p>健口から始めるウェルビーイング向上イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安心して長生きできる社会」の実現に向けて、各専門団体、関連企業、行政等が協働し、子どもから大人まで誰もが参加できる啓発イベントの実施により、県民の「健口」意識の機運を醸成 <p>先端医療技術等の体験・普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 県立病院及び関係団体で実践・研究されている先端医療技術や特色ある取組に関する展示や、実施体験コーナーの設置、動画製作等を通じて広くPRし、未来の医療を体験できる場を創出
	7	学びと遊び [7/17~7/28]	<p>スタートアップチャレンジ甲子園</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの達成をテーマに、マインドの高い学生、起業を志す若者によるビジネスプランプレゼンテーション審査会「スタートアップチャレンジ甲子園」を兵庫県・大阪府で共催 両府県の学生等による意見交換や相互交流を通じ、リスクに立ち向かう精神・姿勢（アントレプレナーシップ）を醸成
	8	平和と人権 [8/1~8/12]	<p>ひょうご・ヒューマンフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> 「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間である8月に開催 講演、ステージ、展示、体験など様々な催しによる学びや気づきを通して、県民が「人権」を身近に感じ、大切なものとして日常生活の中で人権尊重の実践につなげていくよう人権尊重意識を普及高揚
	9	地球の未来と生物多様性 [9/17~9/28]	<p>里山・里海国際フォーラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 里山・里海の重要性やその保全と再生に向けた取組を国内外に発信するため、IGESが主催する「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム（ISAP）」と連携したフォーラムを開催
	10	SDGs+Beyondいのち輝く未来社会 [10/2~10/12]	<p>ひょうごSDGsシンポジウム（仮称）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの更なる浸透と機運醸成を図るべく、県内の企業や自治体職員、県民などあらゆるステークホルダーを対象としたシンポジウムを開催



他県連携



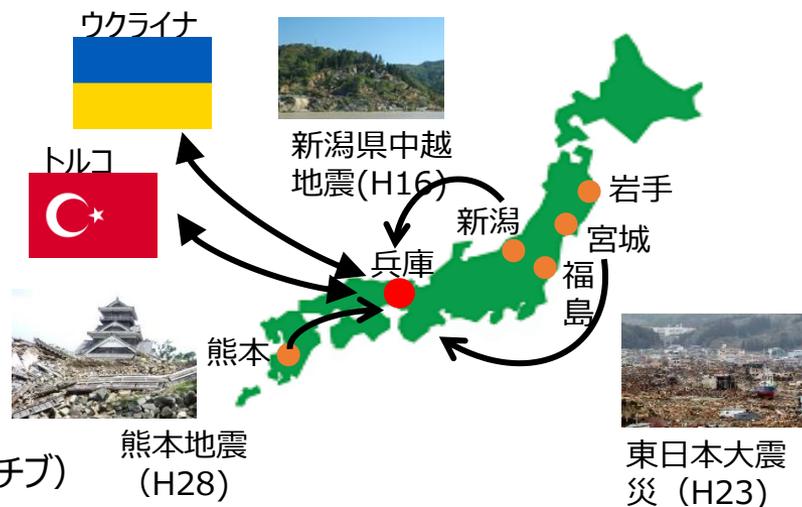
1. 事業概要

2025年(大阪・関西万博開催年)は阪神・淡路大震災から30年の節目にあたることから、阪神・淡路で生まれたコンセプト「創造的復興」(Build Back Betterの概念)をテーマに、国内被災地の知事や海外の被災自治体・関係機関等が意見交換し、世界に向け発信。

2. R7年度の実現内容

・創造的復興サミットの開催

- (1)日 程 2025年9月下旬～10月上旬の土曜日
(「創造的復興ウィーク」の期間中に実施)
- (2)場 所 神戸市内(人と防災未来センター)
- (3)参加者 国内被災地の知事等
(兵庫、岩手、宮城、福島、新潟、熊本)
海外の被災自治体等
(トルコ、ウクライナ)
- (4)主な内容 出席者によるディスカッション、共同宣言(イニシアチブ)



3. R6年度実施内容【-百万円】

・R7年度の開催に向け、実施内容(日程、会場、参加者等)の検討、調整。

4. ロードマップ

項 目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
実施内容の検討、調整		実施内容の検討 → 参加者・会場等の調整	
サミットの開催			サミットの開催

【再掲】

1. 事業概要

「防災」と「ツーリズム」を組み合わせることで、「楽しみながら防災を学ぶ」、「防災意識の向上とともに地域の魅力を堪能する」という相乗効果により、持続可能な、一過性にならない「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図る。創造的復興を次世代へ継承し、次なる災害に備えるため、安全安心で災害に強い社会づくりのための方策を提示。

2. R7年度の実現内容

- ・県内の防災関連資源と周辺の観光資源を組み合わせたツアーが民間事業者により市場化し、防災ツーリズムが普及・定着。（人と防災未来センター、三木広域防災センター、E-ディフェンスや震災遺構等を活用）
- ・国内被災地の知事、海外の被災自治体等と連携した「創造的復興サミット」などへの国内外からの来場者、万博・フィールドパビリオン参加者等、国内外に「防災先進県ひょうご」、「ひょうご五国」を広く発信。



人と防災未来センター

3. R6年度実施内容【14百万円】

(1) ツアーコースの造成等【10百万円】

① 企画委員会の設置等

R5年度に立案予定の「防災ツーリズム推進戦略（仮称）」に基づく施策の実施にあたって、専門家から助言をもらうとともに、企画委員会で実施方法等を決定

② 「防災ツーリズム推進戦略（仮称）」の実施・検証・改善

戦略の向上や防災ツーリズム資源のプロモーションに必要な取組を展開

③ 世界銀行・国際会議「グローバルフォーラム2024」への参画

R6年6月に姫路市内で開催される「グローバルフォーラム2024：自然災害リスクへの理解を深める」に参画し、フォーラム来場者に県内の防災関連資源を訪れていただくスタディツアーの提供等を実施



広域防災センター

(2) 防災まち歩き推進【4百万円】

① 防災まち歩きガイドの育成

阪神・淡路大震災の経験・教訓を次世代に承継・発信する「防災まち歩き」に取り組む団体・人材の裾野を広げるための研修を実施

② 防災まち歩きイベントの開催

震災から復興した街並みを舞台に、震災当時の写真を表示できるデジタルマップを活用したガイド付まち歩きイベント等を開催

4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
ツアーコースの造成等	戦略の立案	戦略に基づく施策の実施・検証・改善	市場化、普及・定着
防災まち歩き推進	マップ作成・広報、1.17を中心にイベント実施、ガイド育成		防災関連NPO等の取組支援

豊岡復興建築物群の魅力発信

1. 事業概要

豊岡市中心部は、1925年の北但大震災で多くの建築物が倒壊・焼失したが、その復興事業では、多くの鉄筋コンクリート造建築物が整備された。現在でもそれらのいくつかが現存しており、当時の建築文化や町並みを感じることができる。

万博イヤーの2025年は震災から100年にあたることから、当時を振り返り、防災減災の重要性を改めて啓発するとともに、100年生き残った建築物の魅力を確認し、移住定住の促進や地域活性化につなげる取り組みを進める。



豊岡稽古堂 (1928)

2. R7年度の実現内容

- ・北但大震災の発災100年にあたる5.23には、城崎温泉地区で地元民間団体が中心になり震災復興シンポジウムを開催。
- ・豊岡市では、市・県民局が連携し防災事業を開催。



大開通り商店街のまちなみ



豊岡1925 (1934)

3. R6年度実施内容【0.7百万円】

- (1) 歴史的価値の普及啓発
 - ア 豊岡復興建築群の情報発信 (デジタルマップの活用・更新)
 - イ 中学校や高等学校での出前講座の実施
- (2) 復興建築を活用した地域活性化
 - ア 復興建築群街歩き (スタンプラリー) の開催



豊岡劇場 (1927)



料亭 とゞ兵 (1929)

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
歴史的価値の普及啓発	景観遺産登録 (予定)	震災復興出前講座	震災復興出前講座
復興建築物群の活用	デジタルマップ作成	まちあるきイベント開催	復興100年イベント

万博に向けた国際フロンティア産業メッセの開催

産業労働部

1. 事業概要

企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、基調講演、特別講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術交流・ビジネスマッチングを進める機会を提供する。

万博開催に向けて増加する海外からのビジネス客も取り込むことで、企業のさらなる国際展開を目指す。

2. R7年度の実現内容

- ・万博で注目される最先端技術のPR
- ・「万博」関連テーマの講演・セミナー開催
- ・「国際ゾーン」の展開
- ・会期を拡大（2日→3日）
- ・県内高校・大学生の参加を促進

3. R6年度実施内容【8百万円（県分担金）】

2023年からの3年間、万博開催の機運を盛り上げるため、「持続可能な未来社会の構築（SDGs）」という共通コンセプトのもと、万博に向けた特別テーマを設定し、段階的に盛り上げていく。



産業メッセ開催の様子

年度	共通テーマ	万博に向けた特別テーマのイメージ
2023	持続可能な未来社会の構築（SDGs）	未来を創るイノベーション（「万博」に向けたシーズとなり得る、世界を見据えた先端技術を幅広く発信）
2024		未来のショーケース（兵庫が誇る未来技術を「万博」に向けて発信）
2025		国際シナジーの創出（兵庫が誇る未来技術を発信、国際ビジネス客の誘致を通じたマッチング・国際交流の推進、テーマウィークやフィールドバピリオンと連動したHYOGOの世界発信）

4. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
イベント開催	9.7~9.8（木・金）	9.5~9.6（木・金）	
テーマ	企画・調整 2023開催 未来を創るイノベーション	企画・調整 2024開催 未来のショーケース	企画・調整 2025開催 国際シナジーの創出
	 共通テーマ：SDGs  空飛ぶクルマ SD-03 (SkyDrive)  水素エンジン搭載バギー (カワサキモーターズ)	 手術支援ロボット ヒトリ (メディカロイド)  瀬川素直船 ずいひるんひあ (川崎重工)	 万博イメージ

1. 事業概要

兵庫の地場産業について、大阪・関西万博を契機として、新たな人・モノの流れを呼び込むため、産地間交流による新たな発想による新商品の開発や、海外への販路拡大を視野に世界にも通用するべく産地組合が取組む「商品の磨き上げ」への活動を支援し、産地の活性化を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・万博本会場にて、県内地場産地のコンテンツの国内外への発信。
- ・各産地のFPにおいて、インバウンドを含めた国内外からの来訪者の受入れ。
- ・万博を契機に海外への販路拡大を図るべく、世界に通用する地場産地の「モノ・コト」を作り上げる。

3. R6年度実施内容【13百万円】

じばさん「ひょうご国」プロジェクト事業【13百万円】

<実施方法> (公財) 神戸ファッション協会への補助

<実施内容>

(1)産地の海外向け商品磨き上げ支援

県内地場産業の産地組合向けに「海外販路拡大にむけたブランディング戦略」についてセミナーや個別相談会による商品の磨き上げを支援

(2)産地の新商品開発支援

県内地場産品について、産地間コラボや海外デザイナー等を交えた新商品開発を通じ、海外に売れる「モノ・コト」へのブラッシュアップを図り、インバウンド客も多く来店する百貨店等での展示販売を行う。



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
産地の商品磨き上げ・産地の新商品開発	産地間コラボ商品開発	→ 海外へ売れる商品へのブラッシュアップ	→ 万博本会場・FP会場にてPR

兵庫津ミュージアムを核とした兵庫五国の魅力発信

1. 事業概要

博物館の非日常空間を活かし、兵庫五国の魅力を発信する“ユニークベニューイベント”等を開催するとともに、次代を担う若者、ファミリー層や観光客など、さらなる誘客を促進

2. R7年度の実現内容

(1)兵庫の歴史・文化・産業に根ざした舞台芸術・体験イベントの実施

- ①兵庫ゆかりのアーティストによる“ユニークベニューイベント”開催
- ②万博コンテンツ等の体験イベント
[ひょうごフィールドパビリオンプレイヤーによるワークショップ開催 等]
- ③県内大学生、インフルエンサー等による五国の魅力発信プロモーション (SNS活用)

(2)国内外からの誘客促進

- ①学校教育旅行用のオーダーメイド型見学プログラムの開発
- ②兵庫津周遊プログラムの開発
- ③広域的な観光コンテンツ (例：朝鮮通信使等) の活用
- ④SNS等を活用した海外向け情報発信
- ⑤AI技術を活用した博物館多言語音声ガイドシステムの活用



(ユニークベニューイベント事例)

3. R6年度事業費【9百万円】

- ①舞台芸術・体験イベント実施 (ユニークベニューイベントの開催等)
 - ②国内外からの誘客促進
- ※夏季に「万博とフィールドパビリオン」をテーマに企画展を開催



初代県庁館 ひょうごはじまり館

(兵庫津ミュージアム外観)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
舞台芸術・体験イベント	企画・調整	事業実施	
国内外からの誘客促進	企画・調整	プログラム開発・実施	

1. 事業目的

大阪・関西万博を契機に、全国最多9つの日本遺産をはじめ、世界遺産・姫路城、世界遺産を目指す鳴門海峡の渦潮など県内の多彩な地域遺産について、環境保全、文化・伝統の継承、普及啓発・教育の取組など、SDGsの観点から、国内外への情報発信、兵庫への誘客を促進

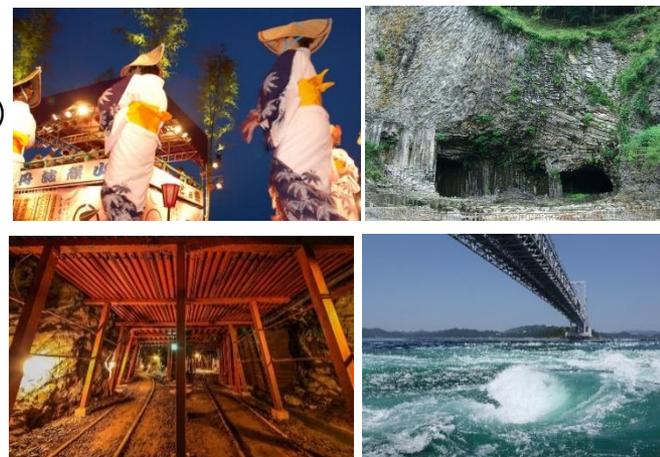
2. R7年度の実現内容

(1) 日本遺産シンポジウムの開催 (2024年度 プレ開催、2025年度 本開催)

(2) 歴史ツーリズムの展開 (県立兵庫津ミュージアムと連携)

[コンテンツ例]

- ① 国生み神話の伝承と金属器文化・海人の航海技術等との関わり (淡路)
- ② 近代日本の産業発展を支えた銀の馬車道・鉾石の道の歴史・鍛冶技術 (中播磨・但馬)
- ③ 北前船による近代国内航路形成の歴史や松右衛門帆などの技術 (各地域)
- ④ 姫路城、播磨の山城を通じた中世・近世期の築城技術・地域の発展 (各地域)
- ⑤ 灘・伊丹の酒、六古窯、赤穂塩など、伝統・地場産業の足跡・技術 (各地域)
- ⑥ デカンショ節、阿万の風流踊など、多様な祭礼・伝統芸能の継承 (各地域)
- ⑦ 山陰海岸ジオパーク (但馬)



(3) その他関連イベント

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録推進国際シンポジウム関連イベント 等

3. R6年度実施内容【5百万円】

日本遺産シンポジウムの開催

(内容) 基調講演、パネルディスカッション、パネル展示等で各地域の取組報告等

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
日本遺産シンポジウム		企画・調整	プレ開催
歴史ツーリズムの展開		企画・調整	本開催
		企画・調整	実施

1 事業概要

大阪・関西万博に向け、国内外への発信力を高めていくことで、より多くの人々に兵庫県が持つ高い芸術・文化の魅力に触れてもらうとともに、アートを核とした人材交流を促進する。

2 R7年度の実現内容

- ・芸術文化に気軽に触れられる機会の拡充により、人々の生活が豊かになる。
- ・各種プロモーション活動の実施により情報発信力が強化され、国内外問わず、本県の芸術文化に関心を持つ人々が増加する。
- ・陶芸美術館をはじめ丹波焼の里の魅力が伝わり、地域を訪れる人が増え、陶芸を通じた交流が促進される。



ひょうごプレミアム芸術デーオープニングイベント

3 R6年度実施内容 【17百万円】

(1) ひょうごプレミアム芸術デーの開催 【10百万円】

県立芸術文化施設や賛同を得られた市町立・民間施設において、無料開放や無料イベントを実施する。普段、芸術を鑑賞する機会が少ない方や障害のある方、子ども連れの方など、誰もが芸術文化に触れられる機会を提供する。

(2) インスタグラム「兵庫アートポータル」等による情報発信強化等 【4百万円】

インスタグラム「兵庫アートポータル」や大学生等によるミュージアムサポートプロジェクトにより本県の多彩な芸術文化の魅力を発信するとともに、県立芸術文化施設等のHPを英語、中国語、韓国語でも発信する。

(3) 丹波焼の里 魅力発信等 【3百万円】

SNSを利用した広報や陶芸美術館へのアクセスの向上を図ることで陶芸文化及び陶芸ファンの裾野を拡大させる。また、陶芸美術館を中心に活動している陶芸ボランティアの資質向上を図る研修を実施し、陶芸美術館をはじめ丹波焼の里の魅力を発信する力を強化する。

4 ロードマップ

項目	2023(R5)年度	2024(R6)年度	2025(R7)年度
(1) ひょうごプレミアム芸術デー	無料開放施設の拡大、特別イベントの充実、障がい者、子ども連れ等誰もが気軽に芸術に触れる機会の拡充		万博シンクロイベントとして展開
(2) インスタグラム「兵庫アートポータル」等による情報発信強化	インスタ開設、HP多言語化	コンテンツの追加・拡充、フィールドパビリオンとの連携	
(3) 丹波焼の里 魅力発信	地域との連携、広報の充実、ガイド養成		フィールドパビリオンの開催

1. 事業概要

国内外から多く来場者が見込まれる2025大阪・関西万博を契機とし、兵庫の魅力発信や活性化のため、社会教育施設において、各種事業を展開する。

2. R7年度の実現内容

- ・年間を通じた大学生ボランティア（ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズ）による広報活動
- ・ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズと各館との連携による企画提案・実施
- ・瀬戸内国際芸術祭における、他美術館との交流、広報連携

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1)「HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト」の運営 【4百万円】

①ミュージアム魅力発信特設サイトの開設

- ・若年層の興味を惹く視認性に優れたデザイン、モバイル利用を想定したレイアウトの特設サイトを作成

②施設の魅力向上・発信における取組の実施

- ・各施設において、ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズと連携したイベントの開催やポスター等の広告物の作成など、施設の魅力発信に寄与する取組を実施

(2)ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズによる広報活動【0.6百万円】

①サポーターズ施設取材旅費

②ボランティア活動保険への加入

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト	事業推進会議、サポーターズ募集・選考 → 展開(全体会議、ミーティング(随時)、施設広報、企画提案・実施、等)		
ヒョーゴ・ミュージアム・サポーターズによる広報活動	Instagramやnoteを活用した各施設の魅力発信		
		特設サイト開設	
			他府県団体等との交流、広報連携

播磨中央公園サイクリングコースの利活用

1. 事業概要

「初心者から競技者まで対応した誰もが楽しめるサイクルスポーツの拠点整備」をテーマにした播磨中央公園リノベーション計画に基づく、全長7.2kmのサイクリングコースが令和5年10月に完成した。

今後、大阪・関西万博を見据えながら、地域内外の利用者の増加に取り組む。

2. R7年度の実現内容

- ・全国最大規模のサイクリングコースを生かして、アマチュア選手による大会からプロ選手が参加する全国規模の大会まで、様々なサイクルロードレースの誘致。
- ・サイクリングコースの周知と集客を目的として、コース認知度の向上を図る取り組みを進め、大阪・関西万博の期間中には、全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）等が実施するロードレース大会に合わせて、サイクリングイベント（シンクロイベント）の開催。



同コースで開催されたサイクルロードレース

3. R6年度実施内容【2百万円】

- (1)実業団や学生ロードレース大会の誘致
- (2)播磨中央公園でのサイクルロードレースを楽しむためのガイド本作成【2百万円】
- (3)コース愛称募集【0.1百万円】

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
大会誘致	供用開始	大会誘致・実施	
ガイド本作成		ガイド本作成	
コース愛称募集		コース愛称募集	サイクリングイベント

1. 事業概要

2025年開催の「大阪・関西万博」に向けて、地域住民への機運醸成を図るとともに、地域の魅力を発信するための地域PR・観光イベントを開催し、空飛ぶクルマ等の次世代科学技術の展示や体験を通して、播磨科学公園都市の賑わい創出と西播磨地域の連携・交流を促進する。

2. R7年度の実現内容

万博PRステージゾーンの設置により、ひょうごフィールドパビリオンのPRや「市町の日」を想定した動画の放映など、万博に向けた兵庫の取り組みや万博の魅力を効果的に発信し、本会場への誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【11百万円】

(1) 時期：令和6年10月下旬

(2) 場所：播磨科学公園都市 芝生広場（赤穂郡上郡町光都2丁目21）

(3) 内容

ア 次世代技術の展示・体験

空飛ぶクルマ、水素関係、電気自動車、「SPring 8」・「SACLA」見学会、科学教室、天体関係の展示・体験、ロボット関係の展示・体験等

イ 地域の情報発信・交流促進

各市町・観光協会、公民連携プラットフォーム、エコフェス、地域づくり活動、立地企業PR、西播磨特産品市、キッチンカー、飲食店ブース等

ウ 万博機運醸成

2025年日本国際博覧会、ひょうごフィールドパビリオン、「市町の日」イベントを想定した出展等



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
西播磨フロンティア祭の開催	 西播磨フロンティア祭	 西播磨フロンティア祭	 西播磨フロンティア祭

【再掲】

1. 事業概要

西播磨地域の美しい「水」や「緑」にまつわる観光資源、この地に根ざした「古（いにしえ）」の歴史資源や伝統文化を積極的に情報発信するとともに、交流人口の拡大・万博に向けた誘客促進など、戦略的なツーリズムを推進。

2. R7年度の実現内容

・観光PR動画をSNS等で広く情報発信し、国内外からの観光誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1)西播磨「水のさと」水系自慢プロジェクト【1百万円】

「水」にまつわる観光資源の知名度向上と誘客促進を図るため、千種川、揖保川、瀬戸内海岸をはじめとする、「水」にまつわるストーリー・写真・映像を部門ごとに募集する水系自慢コンテストを開催し、それらの素材を活用した観光PR動画を作成。

(2)西播磨を巡るデジタルスタンプラリー【3百万円】

「ひょうごフィールドパビリオン」として認定されたスポット、「水」にまつわるスポット、山城、レトロな街並、道の駅など西播磨地域の魅力的な観光スポットを巡るデジタルスタンプラリーを実施。

(3)「観光カード」による観光プロモーション【1百万円】

管内の写真映えする観光スポットのPR・知名度向上を図るため、インバウンド等をターゲットに、多言語対応可能な観光カードを作成し、イベント等で配布。



【赤西渓谷（宍粟市）】



【利神城（佐用町）】

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
「水」と「緑」と「古」に出会う西播磨ツーリズムの推進	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢	デジタルスタンプラリー 観光カード 水系自慢

万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開

【再掲】

1. 事業概要

2025年開催の「大阪・関西万博」の機会を捉え、西播磨地域の市町や地域単位の魅力、ひょうごフィールドパビリオンなどを発信する西播磨観光プロモーションを展開し、西播磨地域のイメージや認知度の向上により潜在的な観光客を掘り起こすなど、万博後も含めた誘客促進を図る。

2. R7年度の実現内容

PRコンテンツの作成など観光プロモーションの展開により、本会場及び西播磨地域への観光誘客を促進する。

3. R6年度実施内容【5百万円】

(1) 西播磨観光プロモーション事業の推進

西播磨の魅力やひょうごフィールドパビリオンを効果的に発信するPRコンテンツ作成など、万博会場での西播磨地域の市町が連携した自治体参加催事やひょうご万博楽市・楽座等も見据えたプロモーションを企画するとともに、その効果や課題等を整理・検証するため、西播磨フロンティア祭2024や岡山・鳥取との県際イベントなどで、誘客促進プロモーションを実施する。

①プロモーション企画・PRコンテンツ作成

手法やターゲット、伝えたい内容などを明確化し、360度ビュー映像、動画（水系自慢コンテスト受賞作品も活用）、ノベルティアイテム、パンフレット等を作成する。

②プロモーション実施

西播磨フロンティア祭2024、岡山桃太郎まつり、津山さくらまつり、隼駅まつり、移住イベント(東京、大阪)、お城EXPO（横浜）、万博300日前イベント、同50日前イベント等でプロモーションを実施する。



【2023水系自慢コンテスト最優秀賞】

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
万博に向けた西播磨観光プロモーションの展開		企画・コンテンツ作成 プロモーション	

自動運転による来訪者移動支援

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博開催期間中、万博会場と淡路交流の翼港間で臨時航路を想定し、淡路交流の翼港～淡路夢舞台間でのLv4 ※1相当の自動運転実証運行を実施し、万博来訪者を淡路夢舞台に呼び込む人の流れを創り出す。

2025年に向け、本年度よりLv2※2自動運転の実証実験を実施している。

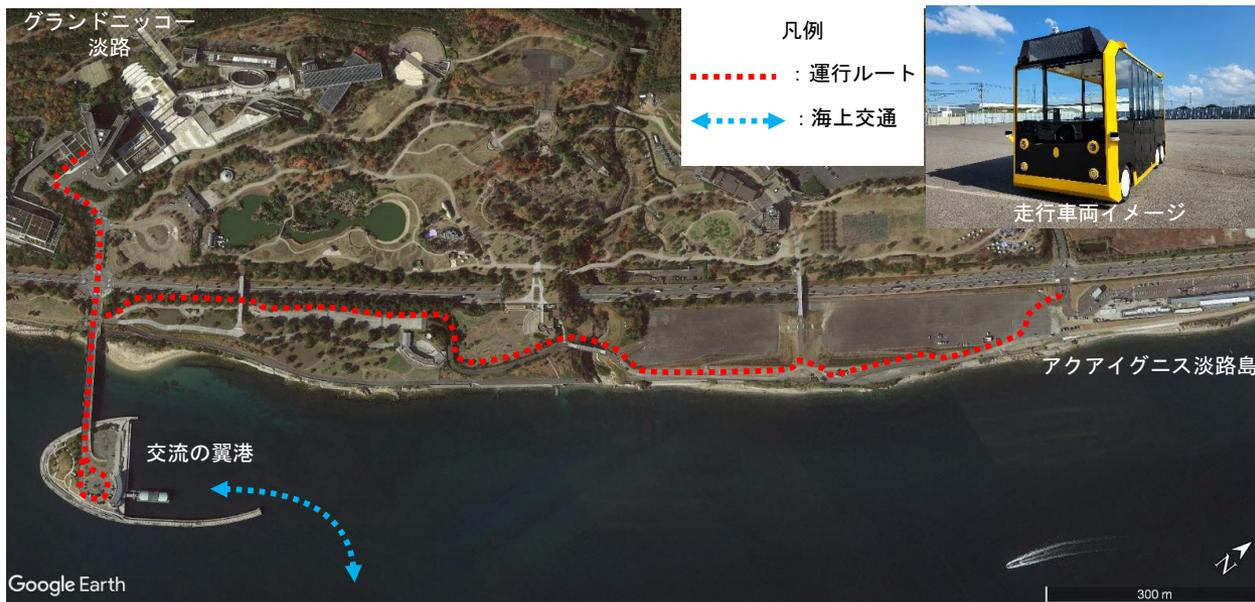
2. R7年度の実現内容

- ・Lv4相当の自動運転車両運行。
- ・淡路交流の翼港、グランドニッコー淡路、国営明石海峡公園、アクアイグニス淡路島を結ぶ移手段。
- ・実証実験を通して蓄積したノウハウを県内自治体などと共有し、今後の技術革新・規制緩和を踏まえた実用化につなげる。

3. R6年度実施内容【77百万円】

- (1)ODD※3許可手続き
- (2)センサー類設置・調整
- (3)公道実証実験
- (4)報告書作成等

4. ロードマップ



項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
ODD許可手続き		ODD※3許可手続き準備、ODD申請	
センサー類設置・調整	自動運転車両走行に必要なセンサー類設置・調整		
公道実証実験	Lv2 ※2自動運転実証実験 (搭乗型、遠隔型)	Lv4 ※1自動運転に対応した車両にて実証実験※4	Lv4自動運転車両運行
報告書作成等	R5年度実証実験結果検証 R6年度実証実験計画検討	R6年度実証実験結果検証 R7年度実証実験計画検討	R7年度実証実験結果検証

※1:自動運転Lv4 (全てシステムが運転) ※2:自動運転Lv2(運転手主体 (システムは補助))

※3:自動運転システムが作動する前提となる走行環境条件

※4:実施Lvは本年度の実証実験結果も踏まえて決定する予定

1. 事業概要

本県が平成4年度から提唱・推進している、地球環境や生物多様性に配慮した、人と環境にやさしい「環境創造型農業」を万博開催を契機に全国に情報発信する。なかでも代表的な取組である「コウノトリ育む農法」を取り上げ、国内で同様に生物多様性に配慮した農業に取り組んでいる自治体、団体等と連携したサミットを開催し、SDGs目標達成にも資する環境や生物多様性に配慮した農業の拡大を図る。

2. R7年度の実現内容

「コウノトリ育む農法」や国内で同様に生物多様性に配慮した農業に取り組んでいる自治体、団体等（例：新潟県佐渡市「朱鷺と暮らす郷づくりと生きもの育む農法」）と連携したサミットを開催し、環境や生物多様性に配慮した農業の意義を発信し、国民の理解醸成を図る。



3. R6年度実施内容【3百万円】

(1) 実施計画策定等業務委託

① サミット企画構想の作成

魅力あるサミットの企画構想を提案し、企画書を作成する。

② サミット実施計画の作成

企画構想を基に、サミットを実施するための実施計画書を作成する。

③ 実施調整業務

サミット実施計画書に基づき、開催にむけた関係各所等との連絡・調整業務を行う。

(2) 調査・調整費

県内外の関係自治体、団体等に出向き事前の調査・調整を行う。



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
サミットの開催	内部調整	企画構想・実施準備	実施準備 開催

輸出向け日本酒商品開発プロジェクト

1. 事業概要

県産酒米で醸された日本酒のオリジナル商品開発やコンテスト出品等を通じて国内外での評価を高め、大阪・関西万博を見据えたインバウンド需要の掘り起こしを図り、近年伸びている日本酒輸出のさらなる促進を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・大阪・関西万博による訪日外国人向けに、県産酒米で醸された日本酒のオリジナル商品開発やコンテスト出品等を支援。
- ・海外バイヤーを県内酒蔵に招聘し、県産酒米を使用した日本酒の認知度向上につなげるとともに、商談会を開催。

3. R6年度実施内容【9百万円】

- (1)輸出向け日本酒商品開発支援【5百万円】
訪日外国人や輸出向けの県産酒米を使用したオリジナル商品の開発
- (2)海外バイヤーとの商談支援【4百万円】
海外バイヤーを日本に招聘し、県産酒米を使用した日本酒の認知度向上を図るとともに、バイヤーとの商談を通じて訪日外国人向けのインバウンド需要の掘り起こしと輸出を促進



海外での試飲会の様子

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)
輸出向け日本酒商品開発支援	製品開発支援	イベント出展 海外コンクール出展	県版テーマウィーク出展 輸出取組	インバウンド対応
海外バイヤーとの商談支援		商談会開催	商談会開催	商談会開催

阪神アグリパーク構想の推進

-モバイルスタンプラリーの開催、阪神産黒大豆枝豆さやもぎ体験の実施-

1. 事業概要

ひょうごフィールドパビリオンの理念と軌を一にする「阪神アグリパーク構想」の関連事業を展開するとともに、阪神北地域のひょうごフィールドパビリオンの造成を支援し、連動して広報PRや誘客促進を図り、持続可能な取組となるよう事業を推進していく。

2. R7年度の実現内容

- ・「阪神アグリパーク構想」の理念が地元住民に浸透し、シビックプライドが醸成される。
- ・阪神北管内FPプレイヤー、管内市町、地元住民、地域の学生・団体等、県民局のネットワークが構築される。
- ・地域資源の魅力向上により、地元以外との交流が促進され、地域の活性化につながる。

3. R6年度実施内容【4百万円】

(1) 阪神アグリパーク構想の推進【テーマ：食と暮らしの未来】

都市・都市近郊農業の振興と地域の魅力向上を図るため、農業者や食関連事業者等との連携の下、都市と農村が共存する阪神地域の特色を活かした多彩な「農」と食に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークに見立てた「阪神アグリパーク構想」を推進。



①地産地消の観点から「メト in 阪神」発信プロジェクトとして、モバイルスタンプラリー等を実施【2百万円】

②「阪神産黒大豆枝豆」のブランド化やさやもぎ体験等による食育を通じた需要拡大【2百万円】

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
阪神アグリパーク構想の推進	事業実施	事業の効果検証	万博を見据えた事業展開
		ブラッシュアップ	テーマウィークと連動した事業実施、万博の誘客促進

1. 事業概要

山田錦（酒米）の生産量は、兵庫県が全国1位であり、約85%を北播磨地域で生産している。兵庫県産山田錦は酒造メーカーからの評価も高く、地域に誇る特産品であるが、日本酒の国内消費の低迷に伴い、山田錦の作付面積も減少傾向にある。

山田錦の担い手・後継者の育成・確保とブランド力の向上を図るため、日本農業遺産の認定に向けた取組や生産組織等に対する経営基盤強化支援、地域計画の策定・実践を通じて、持続可能な山田錦生産・産地（SDGs山田錦）をめざすとともに、大阪・関西万博に向け国内外への魅力発信を行う。

2. R7年度の実現内容

取組が実を結び、日本農業遺産に認定され、認定記念シンポジウム等を実施

3. R6年度実施内容【4百万円】

(1) 農業遺産申請に向けた協議会立ち上げ（4百万円）

兵庫県山田錦主産地農業遺産推進協議会（仮称）※を設立し、シビックプライドの醸成に向けた日本農業遺産等認定にかかる調査や専門家の指導助言依頼、認定に必要な資料作成委託、山田錦農業遺産認定PRイベント実施経費等に取り組む。

※山田錦の作付がある神戸・阪神北県民局関係者と合同で構成

(2) 山田錦の語り部講師派遣（0.2百万円）

山田錦の担い手・後継者の育成・確保と認知度・ブランド力の向上を図るため、山田錦の語り部による出前授業の実施や生産者講習会等への講師派遣を行う。



山田錦の語り部が参加した「山田錦座談会」
（R5年度 北播磨「農」と「食」の祭典）

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①日本農業遺産認定申請への調査・検討	調査・検討	日本農業遺産認定申請	記念シンポジウム・魅力発信
②山田錦の語り部講師派遣	出前授業・生産者等への講習会への講師派遣		

「コウノトリ・トキの野生復帰と環境創造型農業の推進」の取組を通じた情報発信

1. 事業概要

コウノトリの野生復帰や環境創造型農業(コウノトリ育む農法)に取り組む豊岡市と、同様の取り組みを展開する佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を図る。

2. R7年度の実現内容

コウノトリとトキの野生復帰、コウノトリ育む農法など環境創造型農業の取組を広く国内外にPRし、ひょうごフィールドパビリオンとあわせて認知度を向上。

3. R6年度実施内容【1百万円】

新潟・兵庫連携会議における「コウノトリ・トキの野生復帰」「環境創造型農業の推進」の取組について、小学校同士の交流（野生復帰や環境創造型農業に関するオンライン授業、生き物調査等の対面学習）などを実施する。



環境創造型農業のシンボル



オンライン交流授業の様子



それぞれのブランド米

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
小学校どうしの交流等を通じた情報発信	★	★	★

健口から始めるウェルビーイング向上イベント

1. 事業概要

「ひょうごビジョン2050」が目指す社会のうち「安心して長生きできる社会」の実現に向けて、万博テーマウィークの「健康とウェルビーイング」において、関連団体、関連企業、行政等が協働し、歯と口の健康について広くPRできる人材を活用し、また子どもから大人まで誰もが参加できる啓発イベントの実施により、県民の「健口」意識の機運を高める。

2. R7年度の実現内容

- ・大使、産官学協働による歯科保健に関する体験型意識醸成イベント

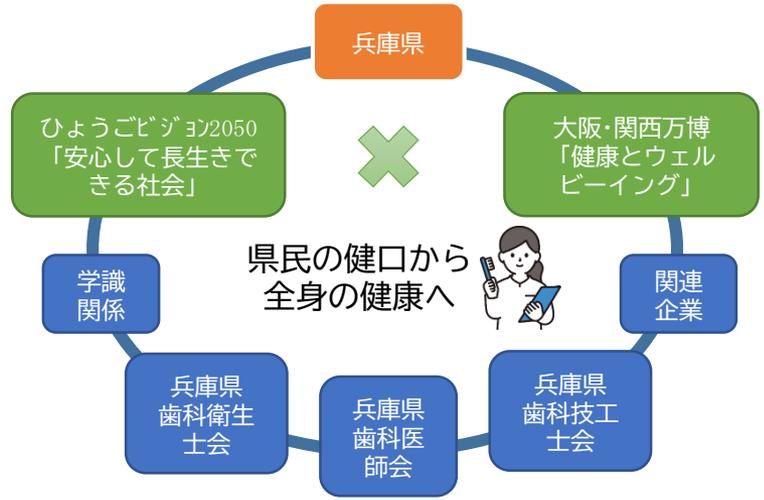
3. R6年度実施内容【4百万円】

(1) 県民の歯と口の意識醸成イベントの開催【2百万円】

- [内容]①「健口アンバサダー」×兵庫県ゆかりの著名人による健口トークショー
- ②歯科学識者による歯と口の健康に関する記念講演

(2) 「万博（健康とウェルビーイング）」に関する広報【2百万円】

- [内容]①イベントの広報
- ②万博「健康とウェルビーイングの広報」



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)		2025年度 (R7)	
(1) 県民の歯と口の意識醸成イベントの開催		企画	開催	企画	開催
(2) 「万博（健康とウェルビーイング）」に関する広報		広報期間			

先端医療技術等の体験・普及啓発

1. 事業概要

県立病院及び関係団体で実践・研究されている先端医療技術や特色ある取組について、実施体験を交えて広くPRし、未来の医療を実感できる万博とする。

2. R7年度の実現内容

選定した先端医療技術・特色ある取組に関する展示や、実施体験コーナーの設置、動画製作等を行う。

◇県立リハビリテーション中央病院等における取組を例として

- (1)メタバース空間・VRを活用したリハビリテーション体験の実施
- (2)先端リハビリテーション機器の装着・訓練体験の実施
- (3)県立病院で提供する医療・リハビリを紹介する展示（パネル、動画等） など



3. R6年度実施内容【7百万円】

- (1)メタバース空間・VRを活用したリハビリテーション体験の実施【7百万円】
詳細検討及び関係機関との調整を行い、実施に向けた準備に取り組む
- (2)先端リハビリテーション機器の装着・訓練体験の実施
詳細検討及び関係機関との調整を行い、実施に向けた準備に取り組む
- (3)県立病院で提供する医療・リハビリを紹介する展示（パネル、動画等）
詳細検討及び関係機関との調整を行い、実施に向けた準備（展示物の作成）に取り組む



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
メタバース空間・VRを活用したリハビリ体験の実施	詳細検討・関係機関との調整	体験実施に向けた準備	開催
リハビリ機器の装着・訓練体験	詳細検討・関係機関との調整	体験実施に向けた準備	開催
パネル展示、動画配信	詳細検討・関係機関との調整	展示物の作成	開催

1. 事業概要

持続可能でより良い社会の実現を目指す世界共通の目標であるSDGsの達成をテーマに、マインドの高い学生、起業を志す若者によるビジネスプランプレゼンテーション審査会「スタートアップチャレンジ甲子園」を兵庫県・大阪府で共催。両府県の学生等による意見交換や相互交流を通じ、VUCA※と言われる時代の中で新たな事業を創造し、リスクに立ち向かう精神・姿勢（アントレプレナーシップ）を醸成。

※VUCA…「Volatile:不安定、Uncertain:不確実、Complex:複雑、Ambiguous:曖昧」の頭文字の総称。

問題を「解決」するよりも「発見」する力、本質を見抜く力が求められる時代とされる。

2. R7年度の実現内容

- ・万博関連イベントとしての開催を検討。
- ・過年度参加者が県内、府内で起業。



3. R6年度実施内容【0.6百万円】

- (1)参加募集【0.2百万円】
チラシ印刷費など
- (2)県予選【0.3百万円】
書面審査、面談審査の委員謝金
- (3)本大会【0.1百万円】
本大会審査員の謝金、旅費
※兵庫県で開催



▲R5.3.5@起業プラザひょうご（兵庫）

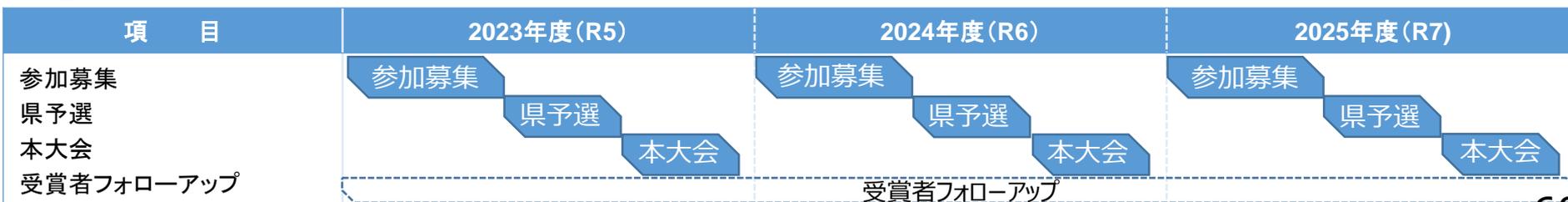
ジュニア部門最優秀：県立長田高校（写真右）

▲R5.11.12@ちゃやまちプラザ（大阪）

ジュニア部門最優秀：県立加古川東高校（写真左）

シニア部門最優秀：神戸大学高橋さん（写真右）

4. ロードマップ



1. 事業概要

万博のテーマウィーク「平和と人権」(8月)にあわせて開催。講演、ステージ、展示、体験など様々な催しによる学びや気づきを通して、県民が「人権」を身近に感じ、大切なものとして日常生活の中で人権尊重の実践につなげていこう、人権尊重意識の普及高揚を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・万博テーマウィーク「平和と人権」の日程であり、「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間である8月に実施
- ・テーマウィーク「平和と人権」のテーマ領域の企画で開催

(参考) 令和5年度開催内容

3. R6年度実施内容【-百万円】

(1)企画内容等の検討

①共催市町との協議

- ・開催日、開催場所の決定

②企画内容の検討

- ・企画提案コンペの準備

(2)関係者との調整



4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
企画内容等の検討 関係者との調整		共催市町との協議 → 順次、企画内容の検討	地元調整→開催準備 成果検証

1. 事業概要

「ミモザ企業（ひょうご・こうべ女性活躍推進企業）」の社員が一堂に会し、女性活躍推進に向けた取組内容の発信、ミモザ企業の認知度向上、相互交流の機会を提供することで、一層の女性活躍推進に向けた機運醸成を図る

2. R7年度の実現内容

- ・令和4年11月の制度創設から3年を迎える節目として、これまで認定を受けたすべてのミモザ企業を対象に参加を募る
- ・令和5・6年度は、令和7年度のフォーラム開催に向け、認定制度の拡充や意欲のある企業の発掘等、ミモザ企業の増加に取り組む

3. R6年度実施内容【8百万円】

- (1)ミモザ企業応援アドバイザーの設置【2百万円】
認定の申請手続きやイベントの企画・開催を行う人員を設置
- (2)「(仮称)フレッシュミモザ企業」認定の導入【1百万円】
企業が取り組みやすい新たな認定区分を導入することで、女性活躍推進に意欲のある企業を発掘し、ミモザ企業の増加につなげる
- (3)女子学生とミモザ企業のマッチング【5百万円】
 - 【第1段階：ミモザ企業を知る！】
 - ①ミモザ企業の女性社員による大学への出前講座
 - ②女子学生によるミモザ企業見学の実施
 - 【第2段階：ミモザ企業と協働する！】
 - ③女子学生とミモザ企業女性社員との交流会の開催
 - ④女子学生向け企業の魅力発信（動画・SNS広告）
 - 【第3段階：女子学生とミモザ企業をマッチングする！】
 - ⑤ミモザ企業と協働した「キラキラミモザ就職フェア」の開催

【ミモザ企業認定マーク】



【ミモザフォーラム開催イメージ】



4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
ミモザフォーラムの開催			ミモザフォーラムの開催
(仮)フレッシュミモザ企業の導入		新たな認定区分を導入	
女子学生とのマッチング	交流会の実施	出前講座・企業見学・交流会・魅力発信・就職フェアなど拡充して実施	

多様な人々が安心して万博に参加できる基盤づくり

～誰一人取り残さない「ユニバーサルひょうご」の実現～

福祉部

1. 事業概要

2025年大阪・関西万博の開催に向け、誰一人取り残すことなく、一人一人の多様性を認め合いながら、全ての県民が障害の有無や言語、文化等の違いに関わりなく、自らの意思でいきいきと社会参加できる「ユニバーサルひょうご」の実現を目指し、全ての人が社会的に包摂された状態で、安心して万博に参加できる基盤づくりを推進する。

2. R7年度の実現内容

国内外からの多様な来訪者（障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子ども連れの方、まちなかで困っている人等）に対する県民のホスピタリティの向上（誰一人取り残すことなく迎える万博）

3. R6年度実施内容【13百万円】

- (1)ひょうごから発信！みんなの声かけ運動の普及強化【4百万円】
ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及
- (2)みんなが輝く「ユニバーサルひょうご」出前講座【2百万円】
県民のホスピタリティ向上のための出前講座を実施（一般・学校・企業等）
- (3)観光事業者等向け手話講座、安全確保実践研修、セミナー【7百万円】
観光業従事者等を対象に手話講座、視覚障害者の安全確保実践研修、盲ろう者の社会参加促進セミナー等を実施



4. ロードマップ

項目	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）
①普及啓発の強化	ユニバーサルひょうご普及啓発強化員による普及啓発、ヘルプマークの普及		多様な人々が活躍できる社会・誰一人取り残されない社会づくりの成果の発信（フォーラムの開催）
②出前講座の実施	出前講座の実施と、受講者による地域や職域での実践活動の促進		
③手話講座、視覚障害者の安全確保研修、盲ろう者社会参加促進セミナー等の実施	手話講座の実施による、手話ができる県民の増加と視覚障害者の安全な移動の確保、盲ろう者の社会参加促進		

1. 事業概要

里山や里海の保全と再生に取り組む地域住民や関西万博への来訪者、さらには国際的な関係者に対して、里山・里海の重要性やその保全と再生に向けた取組について、国内外に発信し、裾野を広げ、生物多様性の保全と地域の持続可能な発展を目指す。

2. R7年度の実現内容

○ 里山・里海国際フォーラム

IGESが主催する「持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム(ISAP)」と連携し、講演やパネルディスカッション、ポスターセッション、体験ツアーなど多様な形式によるフォーラムを統一イベントとして開催する。

<内容>

- ① SDGs国際フォーラム
持続可能な社会を実現する取組や知見を深めるフォーラムを開催
- ② エメックス国際セミナー
閉鎖性海域の統合的環境管理や里海など幅広いテーマで情報交換
- ③ ひょうご豊かな海づくり推進大会
豊かな海づくりにかかる活動発表や保全活動、普及啓発を実施
- ④ 北摂里山フィールドパビリオン体験ツアー
北摂地域における里山保全の体験ツアーを開催
- ⑤ Z世代フォーラム
Z世代の企画・運営によるZ世代に向けた取組の発信と連携を強化



3. R6年度実施内容【11百万円】

(1) R5年度に設置した連絡会議を通じ、各イベントを年間通じたりレー形式に構成し開催

<内容>

- ① SDGs国際フォーラム (1百万円)
- ② エメックス国際セミナー
- ③ ひょうご豊かな海づくり推進大会 (0.3百万円)
- ④ 北摂里山FPツアー
- ⑤ Z世代フォーラム

(2) フォーラムでの展開に向けて知見の集積 (9百万円)

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1) ○ 連絡会議	開催	企画検討	
① SDGs国際フォーラム	企画立案 開催	企画立案 開催	統合開催
② エメックス国際セミナー		企画立案 開催	
③ 豊かな海づくり推進大会	企画立案 開催	企画立案 開催	
④ 北摂里山FP体験ツアー		企画立案 開催	
⑤ Z世代フォーラム		企画立案 開催	
(2) 知見集積		知見集積	

北摂里山博物館構想の推進 -里山資源を活用した環境学習・環境創生-

1. 事業概要

ひょうごフィールドパビリオンの理念と軌を一にする「北摂里山博物館構想」の関連事業を展開するとともに、阪神北地域のひょうごフィールドパビリオンの造成を支援し、連動して広報PRや誘客促進を図り、持続可能な取組となるよう事業を推進していく。

2. R7年度の実現内容

- ・「北摂里山博物館構想」の理念が地元住民に浸透し、シビックプライドが醸成される。
- ・阪神北管内FPプレイヤー、管内市町、地元住民、地域の学生・団体等、県民局のネットワークが構築される。
- ・地域資源の魅力向上により、地元以外との交流が促進され、地域の活性化につながる。

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1)北摂里山博物館構想の推進【テーマ：地球の未来と生物多様性】

里山・天然記念物の保安全管理や環境学習の支援などを担っている地域団体等と連携しながら、北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、“北摂里山博物館構想”を推進。



- ・里山の保全や地域の活性化に取り組む人材の育成を行う「北摂里山大学」の開講
- ・小中学生が五感を通じて里山への理解や愛着を深める「こども北摂里山探検隊」の実施など里山資源を活用した環境学習・環境創生の推進

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
北摂里山博物館構想	事業実施 事業の効果検証	万博を見据えた 事業展開 ブラッシュアップ FP造成支援	テーマウィークと連動した事業 実施、万博の誘客促進

「あわじ環境未来島」体感プロジェクト

1. 事業概要

淡路島では、2011年からあわじ環境未来島構想の下、「エネルギーの持続」「農と食の持続」「暮らしの持続」に取り組んできた。万博に向け、島内で様々な取り組みが行われている現場を巡り、体験しながらSDGsや淡路島の未来を考えるツアーを開催するとともに、教育旅行や視察旅行に適したパッケージとして打ち出す。

2. R7年度の実現内容

- ・あわじ環境未来島体験ツアーの開催
- ・パッケージ化された現地視察ツアー情報の提供

3. R6年度実施内容【一百万円】

- (1)あわじ環境未来島体験ツアーの開催
あわじ環境未来島構想に基づき、島内で展開されているプロジェクト現場等を体験・見学するツアーを開催
- (2)現地視察ツアーのパッケージ化の検討
あわじ環境未来島構想を体感できるコンテンツを洗い出し、パッケージ化を検討



2023年度に実施した体験ツアーの様子

4. ロードマップ



ひょうごSDGsシンポジウム（仮称）の開催

1. 事業概要

いのち輝く未来社会をテーマに開催される大阪・関西万博にあわせて、SDGsの更なる浸透と機運醸成を図るべく、県内企業や自治体職員、県民など、あらゆるステークホルダーを対象としたシンポジウムを開催する。

2. R7年度の実現内容

SDGsについて理解し、取り組んでいる企業・県民の増加

3. R6年度実施内容【2百万円】

基調講演や事例発表等を通じて、SDGsやポストSDGs、持続可能な社会について考えるシンポジウムを開催。

- (1) 開催時期：令和6年秋頃（予定）
- (2) 対象：企業、団体、県民、自治体職員等
- (3) 内容：①SDGsステージ（トークショー等）
 ②基調講演
 ③県内企業・学校等による事例発表
 ④SDGsに関するパネル展示等



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
シンポジウムの開催	企画検討 シンポジウム開催	企画検討 シンポジウム開催	企画検討 シンポジウム開催

障害があっても一人ひとりが望む多様な未来社会をデザイン ～誰一人取り残されない「ユニバーサルひょうご」の実現～

1. 事業概要

誰もが互いの多様性を認め、2025大阪関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現につなげるため、障害があっても一人ひとりが望む生き方を考える機会として、障害児等に職業体験の機会を提供し、働くことの大切さを学び未来の夢を育む機会とする。

2. 実施内容

(1)目的

障害児等を対象として、「キッズニア甲子園」において、職業体験の機会を通じて、働くことの大切さを学び未来の夢を育むとともに、学生がボランティアとして活動し、互いの理解を深め、支え合いながら共に生きるという考え方を共有する機会とする。



(2)内容

- ①障害児等に職業体験の機会を提供
県内特別支援学校に参加を呼びかけ、知的・精神・身体等の全障害児を対象として、「キッズニア甲子園」を半日（土曜日16時～21時）貸し切り実施。
- ②学生ボランティアの募集
「みんなの声かけ運動応援協定」を締結する大学等に、障害児等の職業体験をサポートするボランティアを呼びかける。健常者と障害児が交流活動を行うことで、互いの理解を深め、支え合いながら共に生きるという考え方を共有する機会とする。
- ③学生ボランティアの事前研修会の実施
イベント開催日の1週間前に事前研修会として、障害児等の障害特性を学び、キッズニア甲子園を事前に見学することで、イベント当日の不安を少しでも取り除き、積極的な活動に繋げる。



3. R6年度事業費【5百万円】

- (1)障害児等に職業体験の機会を提供【5百万円】
- (2)学生ボランティアの活動【0.2百万円】



4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
①障害児等に職業体験の機会を提供	知的のみ対象	→ 知的・精神・身体等全障害児を対象	
②学生ボランティアの活動		みんなの声かけ運動・研修の実施	

県立淡路景観園芸学校における国際交流事業の展開

1. 事業概要

国際セミナー及びシンポジウムを開催し万博が目指すSDGs達成のための先導的な取り組み事例等を発信し、万博への参画意欲の高揚と万博テーマの推進に寄与する

2. R7年度の実現内容

・淡路夢舞台国際会議場にてシンポジウムを実施

(テーマ案)

「One Healthをめざして - 健全な緑地と人の健康 -」 (仮題)

3. R6年度実施内容【1百万円】

- ・これまで実施した「ランドスケープからの地域経営」に関するセミナーを踏まえ、住み続けられるまちづくりのSDGsに関連するテーマでセミナーを実施 (オンライン・対面でR6 3回/年)
- ・参加者定員：100名程度/回
- ・参加費：無料
- ・セミナー等の広報媒体 (チラシ・ポスター) に大阪・関西万博のロゴを掲載し周知活動

<SDG'sに関連する活動事例>

- ・あわじ石の寝屋緑地30by30における生物多様性保全
- ・特定外来生物オオフサモ駆除 (遮光、刈り取り) の取り組み
- ・「シロチドリの保護活動から海浜環境保全を考える」取り組み



シンポジウムイメージ



ため池の修復
(あわじ石の寝屋緑地)



オオフサモの駆除



シロチドリの保護活動

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
企画・立案	企画		
周知・実施		セミナー開催 (対面・オンライン)	シンポジウム開催 (対面・オンライン)

シンポジウム開催 (対面・オンライン)

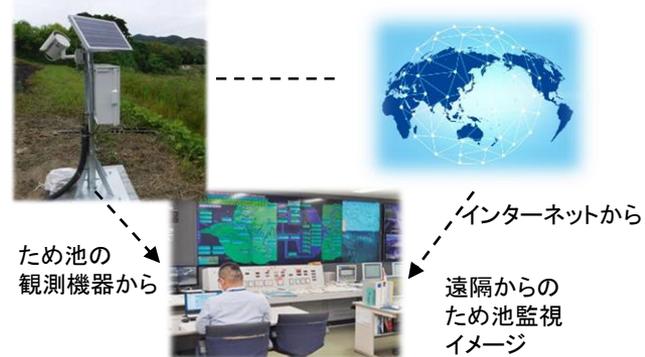
1. 事業概要

淡路島のため池数は約 1 万カ所！ ため池は、モンスーン気候で水稲作の盛んな国・地域（インド、中国、タイ、台湾、スリランカ等）において雨期の水を営農に活かすために数多く存在し、食料生産だけではなく生態系保全、生活用水源、資源循環など **SDGs の観点からも重要な地域資源** となっている。

兵庫県淡路島は世界有数のため池密集地域であり、ため池文化の伝承に加え、早くからため池の新たな視点として「豊かな海を再生するかいぼり」、「総合治水」、「水上太陽光発電」などの利活用を進めている。このたびの万博を機にこれらの取組を国内外に発信するとともに、**「いのち輝くため池の未来デザイン」について文化的・技術的交流を深める。**

2. R7 年度の実現内容

- ① **国内外交流イベントの開催** 万博来場者も参加可能な交流体験イベントとして、真夏のかいぼり体験会等を開催
- ② **ため池シンポジウムの開催** ため池に精通した学識経験者を招聘してシンポジウムを開催し、ため池の未来デザインを討論
- ③ **未来のため池保全の実証** インターネットなど先端技術導入によりため池のスマート管理を検討



3. R6 年度実施内容【2 百万円】

<主な内容>

R6 は既存の取組（かいぼり、ため池教室等）に加えて、「プレ真夏のかいぼり体験会」を実施し、真夏に「かいぼり」ができるか確認。

また、遠隔監視機器を設置した展示場にて、現地研修会等を行い、遠隔監視機器の利便性等を説明、実際に機器を体感してもらう。

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
① イベント開催	既存事業での意識醸成	プレイベント実施	イベント開催
② シンポジウム開催			シンポ開催
③ 先端技術導入		先端技術導入の検討・実証	

1. 事業概要

大阪・関西万博に合わせ、淡路島の豊かな自然、歴史文化、暮らし（生業）、食などを活かした多彩な観光コンテンツやイベントなど幅広い取組を「AWA J I 島博」として展開し、島内への更なる誘客を促進する。

このため、島博の積極的なプロモーションを展開し、機運醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・淡路島内のフィールドパビリオンをはじめとする、多彩な事業や取組が広く情報発信され国内外からの誘客の増加促進

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1)各種広報活動展開による機運醸成 [1百万円]

ポスターやチラシ等の啓発資材を作成、新聞や旅行雑誌、SNSに広告を掲載し、島博をPR

(2)情報発信[0.2百万円]

AWA J I 島博参加事業や実行委員会の情報等をホームページから発信

(3)デジタルスタンプラリー「2百万円」

地域の幅広い取組を側面的に支援するため、周遊促進のプラットフォームとしてデジタルスタンプラリーを実施



4

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
(1)啓発資材の作成、広告		実行委員会の設立・開催	AWA J I 島博の開催
(2)情報発信		各種広報活動の展開	統一ロゴの作成・活用
(3)デジタルスタンプラリー		ホームページの開設・情報発信	デジタルスタンプラリーの実施

「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた情報発信

1. 事業概要

貴重な遺産である鳴門の渦潮を守り後世に伝えていくため、平成26年度から世界遺産に向けた取り組みを行っている。これまでの学術調査の結果や渦潮の「顕著な普遍的価値」、渦潮を通じた地球温暖化など人類共通の環境問題等について、令和7年度に開催される大阪・関西万博のタイミングをとらえ、SDGsの観点から国内外へ情報発信を行い、今後の世界遺産登録に向けた機運の醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

- (1)開催形式：国際シンポジウム（南あわじ市内、ほか兵庫津ミュージアムなど）
- (2)内 容：
 - ・ユネスコ関係者等による講演
 - ・自然、文化学術調査の成果の発表（鳴門の渦潮の特性、海外類似資産との比較研究結果、渦潮と人の関わり等）
 - ・保護保全と観光との両立に取り組む世界遺産登録地の関係者による事例発表
 - ・世界遺産登録に向けた方向性の提示
 - ・エコツアー（鳴門の渦潮の観潮、鳴門の渦潮と関わりが深い施設や地域の環境保全活動等の取組）
- (3)対 象 者：ユネスコ、海外類似資産（ノルウェー・スコットランド）関係者、環境省、文化庁等

3. R6年度実施内容【13百万円】

- (1)学術調査【12百万円】
海外連携調査、新たなアプローチ研究、地質・景観調査を継続実施
- (2)方向性の検討【0.5百万円】
有識者等で構成する「世界遺産登録検討会議」を開催し、方向性を検討
- (3)国際シンポジウム ※予算計上なし
国内外招聘者の調整、開催に向けた調整



4. ロードマップ

項 目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
学術調査	調査の継続（海外連携調査、新たなアプローチ研究、地質・景観調査）	成果とりまとめ	補完調査
方向性の検討		世界遺産登録の方向性の検討	方向性の提示
国際シンポジウム	実施計画の検討	国内外招聘者調整、開催に向けた調整	開催

「都市山・六甲山」魅力発信 ～自然とアートのコラボレーション～

【再掲】

1. 事業概要

としま

2025年大阪・関西万博に向け、市街地からのアクセスにも優れた「都市山・六甲山」のポテンシャルを生かし、観光客を誘致するための各種賑わいづくりイベントを開催する等、新たな六甲山全体の活性化を図る。併せて、六甲ミーツ・アートの会期中に六甲山の自然に親しみつつ、アートの魅力にも触れることができるガイドツアーを実施することによって、アートを通じた六甲山の新たな魅力を発信する。

2. R7年度の実現内容

六甲山に複数存在する2025大阪・国際万博のフィールドパビリオンや万博と同時開催の瀬戸内国際芸術祭の拠点となる美術館等に六甲ミーツ・アートのパネルやチラシ等を設置する等の連携によって、六甲山におけるインバウンドをはじめとした誘客を図り、六甲山全体の活性化を実現する。



ミーツ・アート展示作品のイメージ

3. R6年度実施内容【3百万円】

(1) 「都市山・六甲山」魅力発信事業

① 六甲ミーツ・アート芸術散歩 ガイドツアー事業【1百万円】

県立六甲山ビジターセンター会場を含めた展示会場をガイド付きで巡る事業を複数回実施する。

② 六甲山ビジターセンター賑わいづくり事業【2百万円】

県立六甲山ビジターセンターにおいて、パフォーマンスイベントやキッチンカー出店等の賑わいづくりイベントを開催し、利活用の推進に繋がるとともに、六甲山上の拠点施設としての価値向上につながる取組みを行う。



キッチンカー出店



県立六甲山
ビジターセンター

(2) 効果

六甲山への愛着心の醸成、興味・関心の向上及び賑わいを創出する。

4. ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
「都市山・六甲山」魅力発信事業	Mt.Rokkoロゲイニングの開催		フィールドパビリオンの実施
	六甲山みどころツアー	ミーツ・アートガイドツアー 等	
		ビジターセンター賑わいづくり	

1. 事業概要

大阪・関西万博に向けて、経済団体等と連携し、3カ年（R5～7年度）で、ひょうご中はりまブランドの周知に努めるとともに、万博に向けた機運醸成を図る。

2. R7年度の実現内容

- ・海外において、中はりまの食材や食文化への関心が高まるようPR活動を続けるとともに、食をテーマとした地域イベントなどとも連携するなど、万博に訪れた外国人観光客の誘客を促進する体制を地域一体で整える。
- ・本事業において実証実験の成果を、万博会場等において紹介する。



3. R6年度実施内容【2百万円】

(1)海外での中はりま食文化PR事業【0.8百万円】

- ①趣旨： はりまの酒、乾麺、姫路の菓子、水産練製品等、中播磨の食について、海外でPRすることで、中播磨の食文化を紹介し、中播磨地域への関心を高め、万博への誘客促進につなげる。
- ②内容： 展示会等で、中播磨の食文化を展示、紹介
- ③実施場所： 海外（フランス）



(2)新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業【1.5百万円】

- ①趣旨： 社会課題の解決に向け、自動運転、ドローン、燃料電池などの新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施し、万博会場等での展示につなげる。
- ②内容： 社会課題解決のための実証実験、調査及び、実証結果・成果、調査結果の発表

4. ロードマップ

項目	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)
海外での中はりま食文化PR		中播磨の食文化展示・紹介	
新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携		実証実験・調査、成果発表	

4 リージョナルデー「市町の日」 による魅力発信

4 リージョナルデー「市町の日」による魅力発信

※企画検討・広報等は「3兵庫県版テーマウィーク」とあわせて実施するため個別予算計上なし



- ・万博開催期間中、兵庫県内の市町や地域単位の情報発信などを集中的に行うイベントである**リージョナルデー「市町の日」**を設定し、万博会場や兵庫県立美術館等県内各会場において、**県内各地の魅力**を発信。
- ・博覧会協会や県HP、関西パビリオン「兵庫県ゾーン」、兵庫県立美術館等で**「市町の日」**を発信。

リージョナルデー「市町の日」概要

実施日

- ・万博期間中、**1市町につき1日**実施
- ・複数市町で実施の場合は、合計日数内(例)3市町の場合は3日以内

実施場所

- 〈万博会場〉・関西パビリオン「兵庫県ゾーン」
- ・万博会場内各催事場
- 〈兵庫県内〉・兵庫県立美術館
- ・県内各地 等

実施単位

- 〈複数〉・エリア型(**県民局・センター単位**の複数市町)
- ・テーマ型(**出展内容に親和性がある**複数市町)
- 〈単独〉・単一市町で実施



兵庫県ゾーン (イメージ)



万博会場内催事場 (イメージ)

実施事業例

- 市町や地域単位の情報発信等を集中的に実施
- 地場産業・特産品・食のPR (体験、展示、販売、試飲・試食 等)
 - 自然環境・伝統文化・観光PR (動画放映、展示、実演 等)
 - トークイベント、ファッションショー 等



日本酒のPR・試飲



地場製品の展示



地場産業イベント
(播州織ファッションショー)



自然環境のPR



地域の伝統文化のPR

ロードマップ

項目	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
イベント開催	企画立案	本開催に向けた準備	本開催
情報発信		機運醸成のための誌面連載、SNSでの発信	本開催の紙面掲載、SNSでの発信